

283

30

新潟高等學校一覽 甲號

自昭和八年
至昭和九年

新潟高等學校一覽

甲號

自昭和八年
至昭和九年

283-301

新潟高等學校一覽

甲號 自昭和八年

目次

一 沿革

第一創

第二開

新潟高等學校學則

生徒心得綱領

細則

職制及處務規程

二 試驗進級卒業轉科轉類規程

三 生徒心得

四 制服規程

○目次

發行所 寄附本



一九

二一

二三

二四

○目 次

五	學級總代規程	二六
六	通學生規程	二七
七	寄宿舎規程	二七
八	自修寮規程	二九
九	寮生規約	三〇
一〇	醫務室規程	三三
一一	寄宿舎警火規程	三四
一二	寄宿舎非常手配規程	三四
一三	圖書ニ關スル規程	三四
一四	物品會計規程施行細則	三八
一五	非常警備ニ關スル規程	四三
一六	宿直心得	四四
一七	文書處理及保存規程	四七

發行者 東京府立第一高等學校

一八	御眞影奉安奉護規程	五〇
一	新潟高等學校校友會規則	五三
一	新潟高等學校校友會會計規程	五六
一	職員	五八
一	校友會役員	六四
一	現在生徒本籍府縣別表	六六

○目 次

一、明治初年、度設ケラレタル新潟學校カ廢セラレテカラ、當地方ニ於テ高等專門教育機關ニ入ル門
 戶ヲ失ツテ、實ニ五十年ニ垂ントシタノデアツタ。明治十九年四月勅令第十五號ヲ以テ中學校令ヲ
 公布セラレ、同年十一月文部省告示第三號ヲ以テ高等中學校ノ設置區域ヲ定メラレ、新潟縣ハ其第
 四區ニ指定ノ上第四高等中學校ノ區域ニ編入セラレ、第四高等中學校ノ金澤ニ置カレタ際、直チニ
 篠崎縣令ヲ首トシテ當地方ノ官民一致ノ高等中學校設置運動トナツタカ、其目的ヲ達セラレナク、
 明治二十一年度ニ於テ新潟縣ハ右設置區域負擔額金六千三百六拾壹圓參拾八錢七厘ヲ議決支出シタ
 ノデアツタ。
 次テ明治三十二年全國ノ學事進歩ノ結果諸學校令ノ改正トナリ、再ヒ高等學校設置ノ運動力起ツタ
 トキ、新潟縣ハ臨時縣會ニ於テ創設費金參拾萬九千圓寄附ノ議決ト内務大臣ヘノ建議トナツテ、新
 潟縣ニ於ケル高等學校設置ノ濫觴トナツタカ、長野縣ト位置爭奪ノ結果不幸兩縣共挫折シ、其後明

新潟高等學校一覽 甲 號



一、創立

○沿革

治四十五年度ニ文部當局ニ於テ信越地方ヲ選擇シテ高等中學校ヲ新設スルノ議カアツタ時ニ、縣會ハ之ヲ速ニ新潟縣ニ設置セラレタキ意見書ヲ内務大臣ニ提出シタカ、タマタマ大正五年學制改革問題ノ進行ニ伴ヒ、高等教育機關増設ノ議起ツタトキ、更ニ地方官民一致ノ高等學校設立ノ運動起リ、縣市教育會ノ意見書提出トナリ、十二月新潟縣會ノ議決ヲ以テ高等學校設立ニ關スル意見書ヲ内務大臣ニ提出シテ、大正七年五月新潟市ニ設立ニ確定シタノテアル。四縣計八縣ノ議決ヲ以テ、新設スルニ於テモ敷地(貳萬四拾七坪七合)全部ノ寄附ノ申請ヲナシ、後ニ政府ノ追加豫算トナリ、大正七年ヨリ工ヲ起シテ、大正八年四月新潟高等學校ノ官制ノ制定ト共ニ遂ニ其實現ニ至ツタノテ、實ニ新潟高等學校ノ設置運動カ始メテ起ツテカラ三十餘年來ノ新潟縣地方官民ノ努力ノ結果テアル。

大正八年

二、開校

四月十四日勅令第百十二號ヲ以テ文部省直轄學校官制ヲ改正シ同日勅令第百十三號ヲ以テ新潟高等學校職員ノ定員ヲ校長一人、教授十六人、書記三人ト定メラル

四月十五日公立中學校長(東京府立第三中學校長)八田三喜本校教授ニ任シ學校長事務取扱ヲ命セラル

ラル

四月十六日文部省令第十三號ヲ以テ新潟縣新潟市ニ新潟高等學校ヲ設置シ九月ヨリ授業開始ノ件並ニ同日文部省告示第百十九號ヲ以テ本校事務所ヲ文部省内ニ設置ノ旨告示セララル

五月廿四日文部省告示第百五十九號ヲ以テ本校事務所ヲ六月一日ヨリ新潟縣新潟師範學校内ニ移ス旨告示セララル

七月十一日ヨリ十四日迄入學選抜試験ヲ施行シ同月廿日生徒百六十名ノ入學ヲ許可ス

九月十日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ヲ定ム

九月十一日ヨリ授業ヲ開始シ假寄宿舍ヲ二ヶ所ニ設ケ第一寮(新潟縣衛生會建物)第二寮(民家)ト稱ス

同月制服規程、學級總代規程、通學生規程、假寄宿舍規程、生徒心得綱領、生徒心得、生徒成績考査規程、圖書規程、試験進級卒業規程ヲ定ム

十月本校職制及處務規程ヲ定ム

十一月非常警備ニ關スル規程、宿直心得ヲ定ム

大正九年

三月文部大臣ノ許可ヲ受ケ物品會計規程施行細則ヲ定ム

五月三十一日勅令第百八十號ヲ以テ本校職員定員中教授二十人、書記四人、助教授一人ト改正セラル

六月十二日學校長事務取扱教授八田三喜本校校長兼教授ニ任セラル

六月十四日文部大臣ヨリ學則中追加ノ件許可セラル

七月十一日ヨリ十四日マテ入學選抜試験ヲ施行シ生徒百三十八名ノ入學ヲ許可ス

七月假寄宿舎ノ内第二寮ヲ閉鎖ス

八月二十二日新築校舎(西大畑町)へ移轉ス

八月三十日新築寄宿舎ヲ開ク

九月六日文部省告示第四百十號ヲ以テ本校ノ事務ヲ新潟市西大畑町新潟高等學校ニ取扱フ旨告示セラル

九月七日假寄宿舎第一寮ヲ新潟高等學校寄宿舎東寮ト改稱ス

九月八日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

九月制服規程、生徒心得、及試験進級卒業規程ヲ改正シ假寄宿舎規程ヲ廢シ新ニ寄宿舎規程ヲ

定ム

九月二十日宿直心得ノ一部ヲ改正ス

十月二十五日教育ニ關スル勅語謄本ヲ下賜セラル

大正十年

三月十八日ヨリ二十二日マテ入學選抜試験ヲ施行シ生徒百四十二名ノ入學ヲ許可ス

三月三十日勅令第五十號ヲ以テ本校職員定員中教授二十五人、助教授四人、書記五人ト改正セラ

ル

大正十一年

二月一日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

三月十日第一回文科五十九名理科五十一名卒業ス

三月十八日ヨリ二十二日マテ入學選抜試験ヲ施行シ生徒百五十名ノ入學ヲ許可ス

六月一日本校落成式ヲ舉行ス

十月二十日天皇后兩陛下ノ御眞影並ニ皇太子殿下ノ御影ヲ拜戴ス

大正十二年

三月八日第二回文科五十八名理科四十九名卒業ス

三月十八日ヨリ二十二日マテ入學選抜試験ヲ施行シ生徒百三十一名ノ入學ヲ許可ス

三月二十一日校友會規則ノ一部ヲ改正ス

六月二日創立記念學術講演會ヲ開ク

十二月廿一日校友會規則ノ一部ヲ改正ス

大正十三年

二月十九日文科大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

三月五日圖書ニ關スル規程ノ一部ヲ改正ス

三月八日第三回文科七十名理科五十四名卒業ス

三月十八日ヨリ二十二日マテ入學選抜試験ヲ施行シ生徒百四十名ノ入學ヲ許可ス

六月二十八日開校記念第二回學術講演會ヲ開ク

大正十四年

三月二日文科大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

三月九日第四回文科五十四名理科五十八名卒業ス

三月十八日ヨリ二十二日マテ入學選抜試験ヲ施行シ生徒百四十九名ノ入學ヲ許可ス

四月一日勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教三人、書記六人ト改正セラル

六月一日開校記念第三回學術講演會ヲ開ク

大正十五年

三月九日第五回文科六十五名理科六十六名卒業ス

三月十七日ヨリ二十五日マテ入學選抜試験ヲ施行シ四月十九日文科七十一名理科七十三名ノ入學ヲ許可ス

六月一日開校記念第四回學術講演會ヲ開ク

昭和元年

十二月二十六日大正天皇陛下ノ奉悼式ヲ舉行ス

昭和二年

二月七日大正天皇敍葬遙拜式ヲ舉行ス

二月十七日教授理學士田中務理學博士ノ學位ヲ受ク

三月九日第六回文科五十六名理科六十三名卒業ス

三月十七日ヨリ二十四日マデ入學選抜試験ヲ施行シ四月七日文科七十二名理科七十三名ノ入學ヲ許可ス

三月廿九日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

六月一日開校記念第五回學術講演會ヲ開ク

七月五日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

十二月二十七日勅令第三百六十五號ヲ以テ本校職員定員中助手一人ヲ加ヘラル

昭和三年

三月八日第七回文科六十五名理科六十九名卒業ス

三月十七日ヨリ二十二日マテ入學選抜試験ヲ施行シ三月廿八日文科七十四名理科七十六名ノ入學ヲ許可ス

四月九日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

六月一日開校記念第六回學術講演會ヲ開ク

七月十四日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

九月醫務室ヲ設ク

十月十日天皇后兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス

十月廿九日勅令第二百五十七號ヲ以テ本校職員定員中生徒主事一人、生徒主事補一人ヲ加ヘラル

十一月十日御大禮奉祝式ヲ舉行ス

昭和四年

三月八日第八回文科六十六名理科六十二名卒業ス

三月十七日ヨリ二十一日マテ入學選抜試験ヲ施行シ三月二十七日文科六十六名理科六十七名ノ入學ヲ許可ス

三月二十日學則ノ一部ヲ改正ス

六月一日開校十週年記念式ヲ舉ケ終テ記念第七回學術講演會ヲ開キ同時二十年勤續者ニ記念品ヲ授與ス

十月二日神宮式年遷宮奉拜式ヲ舉行ス

昭和五年

三月九日第九回文科六十八名理科六十五名卒業ス

三月十七日ヨリ二十一日マテ入學選抜試験ヲ施行シ三月廿六日文科六十七名理科七十二名ノ入學ヲ許可ス

ヲ許可ス

四月九日校友會規則改正

五月卅一日開校記念第八回學術講演會ヲ開ク

昭和六年

三月六日天皇皇后兩陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス

三月九日第十回文科六十一名理科五十一名卒業ス

三月十七日ヨリ廿一日マテ入學選抜試験ヲ施行シ三月廿七日文科七十二名理科七十五名ノ入學ヲ

許可ス

五月卅日開校記念第九回學術講演會ヲ開ク

九月八日文部大臣ノ許可ヲ受ケ學則ノ一部ヲ改正ス

十月卅一日明治記念第一回學術講演會ヲ開ク

昭和七年

三月九日第十一回文科五十名理科六十三名卒業ス

三月十七日ヨリ廿一日マテ入學選抜試験ヲ施行シ三月二十六日文科六十五名理科六十七名ノ入學

ヲ許可ス

三月卅一日學校長兼教授八田三喜依願免本官並兼官、德島縣立德島中學校長岡上梁學校長ニ任セラル

五月廿八日開校記念第十回學術講演會ヲ開ク

十一月五日明治記念第二回學術講演會ヲ開ク

十二月廿七日勅令第三百九十五號ヲ以テ本校定員中助教授ノ三人ヲ二人ニ改メ助手一人ヲ削ラル

昭和八年

二月廿日御眞影奉安奉護規程ヲ定ム

三月九日第十二回文科五十八名理科七十一名卒業ス

三月十七日ヨリ廿日マテ入學選抜試験ヲ施行シ三月廿六日文科六十六名理科六十五名ノ入學ヲ許

可ス

新瀨高等學校學則

昭和四年三月	昭和三年四月	昭和二年三月	大正十三年二月	大正十一年九月	大正九年九月	大正八年九月
改訂	改訂	改訂	改訂	改訂	改訂	創定
正	正	正	正	正	正	正
和	和	和	和	和	和	和
昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
和	和	和	和	和	和	和
四	三	二	十	十	九	八
年	年	年	年	年	年	年
三	四	三	二	九	九	九
月	月	月	月	月	月	月
改	改	改	改	改	改	改
正	正	正	正	正	正	正
和	和	和	和	和	和	和
昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭
和	和	和	和	和	和	和
六	三	二	十	十	九	八
年	年	年	年	年	年	年
九	七	七	三	二	二	六
月	月	月	月	月	月	日
改	改	改	改	改	改	加
正	正	正	正	正	正	正

第一章 學年學期及休業日

第一條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第二條 學年ヲ分テ左ノ二學期トス

第一學期 四月一日ニ始マリ十月十五日ニ終ル

第二學期 十月十六日ニ始マリ三月三十一日ニ終ル

第三條 休業日左ノ如シ

- 一日 曜 日
- 五日 大祭日祝日
- 開校記念日 自七月十一日 至九月十五日
- 夏期休業 自九月二十五日 至十一月二十五日
- 冬期休業 自十二月二十五日 至一月二十五日

第四條 式日ハ左ノ如シ 自三月十七日 至四月十七日

- 天長節
- 明治節
- 一月一日
- 紀元節

開校記念日 (六月一日)

第五條 式日ニハ職員及生徒學校ニ參集シ所定ノ式ヲ行フ

第二章 學 科

第六條 本校ノ學科ハ大正八年文部省令第八號所定ノ高等學校高等科文科及理科トス

第七條 前條各科ノ學科目中外國語ハ英語及獨逸語トス

第八條 每學期一回ツ、成績考査ノ爲メ指定ノ日ヲ以テ試験ヲ行フ

第九條 各學科目ノ學期成績ハ每學期行フ試験ノ評點ニ平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム試験ヲ缺

キタル學科ノ學期成績ハ平素ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムルコトアルヘシ

第十條 各學年ノ課程ノ修了ハ每學期ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

第十一條 (削 除)

第十二條 各學科目ノ成績評點ハ百點ヲ以テ滿點トス

第十三條 各學年成績ハ各學科目五十點以上ニシテ平均六十點以上ヲ合格トシ進級又ハ卒業セシム

前項ノ規定ニ該當セザルモノト雖モ證衡ノ上特ニ進級又ハ卒業セシムルコトアルヘシ

第十四條 試験ヲ行ハサル學科目ノ成績ハ平素ノ成績ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 學期成績ヲ缺キタル學科目ノ學年成績ハ其ノ學科目ノ他ノ學期成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四章 生徒ノ入學、退學、休學及懲戒

第十六條 入學ノ期ハ每年學年ノ始メトス

第十七條 入學志願者ノ手續及選抜ニ關スル規程ハ每年別ニ之ヲ定ム

第十八條 入學考査料ハ金五圓トス

一旦納付シタル考査料ハ何等ノ事情アリトモ之ヲ還付セス

第十九條 入學ノ許可ヲ受ケタルモノハ指定ノ期日迄ニ入學料ヲ納付スヘシ

第二十條 疾病其ノ他止ムヲ得サル事故ニ依リ退學セントスル時ハ其ノ事由ヲ詳記シテ本校ニ願ヒ

出ツヘシ

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ除名ス

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一年以上缺席シタル者

四 正當ノ理由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

五 出席常ナラサル者

六 同一學年ニ在學滿二箇年ヲ超ユル者(陸海軍兵役ニ服シタル者及成業ノ見込充分ナルモノニ

シテ特別ノ事情アルモノハ此ノ限りニアラス)

七 授業料ノ怠納十五日以上ニ及フ者

但此ノ場合ニハ情狀ニ依リ證議ノ上特別ノ取扱ヒヲナスコトヲ得

第二十二條 願ニ依リ退學セルモノニシテ退學シタル時ヨリ一箇年以内ニ入學ヲ願ヒ出ツル時ハ證議ノ上原學年ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十三條 疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ依リ三箇月以上修學スルコト能ハサル見込ノ者ニシテ休學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ(疾病ナラハ醫師ノ診斷書ヲ添付シ)願出ツル時ハ詮議ノ上其ノ學年間休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十四條 陸海軍ノ兵役ニ服スル者ハ其ノ服役中休學ヲ許可シ滿期ノ時ハ原學年ニ復セシム

第二十五條 生徒ノ本分ヲ缺キタルモノハ其ノ輕重ニヨリ謹慎、停學、又ハ退學ニ處ス

第五章 授業料及入學料

第二十六條 授業料ハ一學年間金八拾圓トス昭和三年度以前ノ入學者ニ在リテハ其ノ入學當時ノ規程ニ依ル

授業料ノ金額及徴收期日左ノ如シ

昭和四年四月
以降入學者

昭和四年三月
迄ノ入學者

徴收期日

第一期

金四拾圓

金參拾五圓

自四月二十五日

第二期

金四拾圓

金參拾圓

自十月二十五日

第二十七條 轉學又ハ再入學シタル者ノ授業料ハ其ノ學期ニ於テ納付スヘキ分ヨリ之ヲ徴收ス

第二十八條 陸海軍兵役ニ服スルタメ休學ノ許可ヲ得タル者ハ授業料ハ之ヲ徴收セス

但學期始業後授業料徴收期日前ニ服役スル者並授業料徴收期日後ニ復校スル者ニ對シテハ其學期

ニ於テ納付スヘキ分ヲ徴收ス

第二十九條 授業料未納中ニ退學スル者ハ其ノ學期分ノ授業料ヲ納付スヘシ

但退學又ハ除名ニ處セラレタル者ニ就テハ該授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

第三十條 休學ヲ許可シ又ハ登校ヲ差止タルトキト雖モ特別ノ規定アル場合ノ外ハ授業料ヲ減免

セス

第三十一條 (削除)

第三十二條 入學料ハ金參圓トス

第六章 寄宿舎及自修寮

第三十三條 新ニ入學セル本校第一級生徒ハ寄宿舎ニ入ルヘキモノトス但自宅通學ノ止ムヲ得サル事情アルモノハ審査ノ上通學ヲ許スコトアルヘシ寄宿舎ヘキ生徒數所定ノ員數ヲ超過スルトキハ通學ヲ命スルコトアルヘシ

第三十四條 寄宿舎ハ濫リニ退舎スルコトヲ許サズ

第三十五條 寄宿生ニシテ疾病ニ罹リタルトキハ其ノ種類又ハ病狀ニヨリ期ヲ限り退舎又ハ外泊セ

シムルコトアルヘシ

第三十六條 寄宿生ハ寄宿料トシテ毎月金貳圓ヲ納付スヘシ但八月ヲ除ク

寄宿料ノ納付期日ハ毎月一日ヨリ七日迄トス但一月四月及九月ハ十五日迄トス

寄宿料ノ意納者ニ對シテハ授業料意納ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十七條 寄宿生ハ毎月七日迄ニ前月分ノ食料ヲ支拂フヘシ

第三十八條 生徒若干名共同シテ一家屋全部ヲ借受ケ自炊ヲナストキハ之ヲ自修寮トナシ相當ノ補

助ヲナスコトアルヘシ

附 則

本學則實施ニ必要ナル規定ハ細則ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本學則中第九條第十二條第十三條第十七條、第十八條ハ昭和三年度ヨリ施行ス

附 則

本學則中第廿一條、第廿九條、第卅一條ノ改定ハ昭和六年九月九日ヨリ施行ス

生徒心得綱領

本校生徒タルモノハ左ノ條々ヲ體得シ實質剛健ノ氣風ヲ養成スヘシ

一 自由自治ノ精神ニ基キ責任ヲ重ンスヘシ

一 親愛ノ情ヲ厚ウシ協同ノ實ヲ舉クヘシ

一 進取ノ氣象ヲ鍊リ向上ヲ計ルヘシ

細 則

一、職制及處務規程

本校ニ於テ職制及處務ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 教 頭 教授一名ヲ教頭トス

教頭ハ各課ヲ統ヘテ其ノ事務ヲ監督ス

教頭ハ校長事故アルトキハ學校長職務規程第二條ニ準シ其ノ事務ヲ代理ス

二 校務分課 校務ヲ教務、生徒、圖書及庶務ノ四課ニ分ツ各課ニ課長一名及課員若干名ヲ置キ

本校職員ヨリ學校長之ヲ命ス

各課長ハ其ノ課員ヲ統ヘテ其課ノ事務ヲ處理ス

各課長ハ學校長ノ許可ヲ受ケテ其ノ課ニ係及主任ヲ定メ其ノ分掌ヲ定ムルコトヲ得

- 三 教務課 教務課ニ於テハ學科ノ教授及研究ニ關スル事務ヲ處理ス
一 學科目若ハ數學科目ヲ合セテ學科主任ヲ置ク
學科主任ハ其ノ學科目ノ課程及教授ニ關スル事務ヲ處理ス
學科主任ハ處務ニ關シテハ教務課ニ屬ス
- 四 生徒課 生徒課ニ於テハ生徒ノ訓育及ヒ監督ニ關スル事務ヲ處理ス
學級ニ主任及ヒ擔當教官ヲ置ク
學級主任ハ其ノ學級ニ關スル事務ヲ處理ス
擔當教官ハ分擔生徒ニ關スル事務ヲ處理ス
學級主任及ヒ擔當教官ハ處務ニ關シテハ生徒課ニ屬ス
- 五 圖書課 圖書課ニ於テハ圖書ノ保管出納及閱覽ニ關スル事務ヲ處理ス
特別教室其ノ他圖書室以外ニ於ケル圖書ノ分掌者ハ其ノ事務ニ關シテハ圖書課ニ屬ス
- 六 庶務課 庶務課ニ於テハ人事文書記録會計用度管轄及雇傭其ノ他一切ノ庶務ニ關スル事務ヲ處理ス
其ノ他ノ課ニ於ケル分管ノ物品文書記録ニ關シテハ其ノ分管者ハ庶務課ニ屬ス

- 七 評議會 教頭、課長及特ニ學校長ヨリ指名シタル評議員ヲ以テ評議會ヲ組織ス
評議會ハ學校長之ヲ召集シ重要ナル事務ニツキ諮詢ス
評議會ノ議事ハ協議體トス
 - 八 教授會 教授及特ニ指名シタル職員ヨリ組織ス
教授會ハ必要アルトキニ學校長之ヲ召集シ其意見ヲ徵ス
 - 九 協議會 各課ノ事務ニ關シ必要アルトキハ課外ノ職員ヲ加ヘテ協議會ヲ開ク
協議會ハ教頭或ハ課長ノ請求ニヨリ教頭之ヲ召集ス
 - 十 委任權限 教頭及課長ノ專決ニ屬スヘキ委任權限ハ每學年ノ初メニ之ヲ定ム
委任權限内ノ事務ハ處理ノ後之ヲ學校長ニ報告スヘシ
- 二、試驗進級卒業轉科轉類規程
 - 一 每學期一回宛成績考査ノタメ學期試驗ヲ行フ
 - 二 學期試驗時間割ハ試驗開始前一週間以内ニ揭示ヲ以テ告示ス
 - 三 學期試驗以外ニ何レノ學期内ニ在リテモ擔任教官必要ト認メタルトキハ臨時試驗ヲ行フコトアルヘシ

- 四 學期試験ハ其ノ學期內ニ於テ履習シタル課程若シクハ其ノ學年中ニ履習シタル課程ニツキコレヲ行フ
- 五 學科目ニヨリテハ學期試験ヲ行ハサルコトアルヘシ
- 六 學年ノ途中ニテ授業ノ修了シタル學科目ニアリテハ隨時學期試験ヲ行フコトアルヘシ
- 七 學科目ノ學期成績評點ハ學期試験評點ニ平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム
試験ヲ缺キタル學科目ノ學期成績ハ平素ノ成績ヲ參酌シテ之ヲ定ムルコトアルヘシ
- 八 平素成績評點ハ臨時試験評點日課點及勤惰等ヲ參酌シテ之ヲ定ム但シ臨時試験ヲ行ハサルモノハ日課點及勤惰ニヨリテ之ヲ定ム
- 九 學期試験ヲ行ハサル學科目ノ學期成績評點ハ日課點及勤惰ニヨリテ之ヲ定ム
- 十 各學科目ノ學年成績評點ハ其ノ學科目ノ第一學期成績評點ト第二學期成績評點トノ合計點數ヲ以テ之ニ充ツ
- 十一 轉科轉類セントスルモノハ缺員アル場合ニ限り左ノ方法ニ依リ特ニ許可スルコトアルヘシ
一 轉科轉類ハ同一學年若クハ其以下ノ學年ニ限ル但シ第一學年ヘノ希望者ハ凡テ入學選抜試験ヲ受ケシム

- 一 轉科轉類希望者ニ對シテハ從來ノ操行及學業成績ヲ考查シタル上一定ノ檢定試験ヲ課ス
- 二 轉科轉類希望者ハ毎年二月中ニ理由書ヲ添ヘ願ヒ出ツヘシ
- 三 檢定試験ノ許否ハ學年成績決定ノ後之ヲ決ス

三、生徒心得

- 第一條 登校ニハ制服制帽ヲ着用スヘシ
 - 第二條 指定ノ場所以外ニ於テハ喫烟スヘカラス
 - 第三條 揭示ヲナサントスルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
 - 第四條 集會ヲ爲サントスルトキハ代表者ヲ定メ日時、目的、場所、費用等ヲ具シテ前日マテニ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
 - 第五條 生徒出版物ヲ發行スルトキハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
 - 第六條 金員募集ニハ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ
- 遅刻、缺課
- 一 起立禮ノ終了後ニ入場シタルモノヲ遅刻トス
 - 二 一時間又ハ連續シ二時間以上缺席シタルトキハ缺課一回トス

○制服規程

○諸願及届

- 一 生徒缺席又ハ缺課スルトキハ其ノ當日ヨリ三日以内ニ事由ヲ詳記シ學級主任ノ檢印ヲ得テ生徒課ニ届出ツヘシ但シ病氣缺席一週日ニ渉ルモノハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
- 二 忌服ノ爲メノ缺席、缺課ハ缺席日數又ハ缺課回數ニ算入セス此場合ニハ前條ト同様ノ手續ヲ經テ生徒課ニ忌服届ヲ差出スヘシ
- 忌服日數左ノ如シ
 - イ、父母ノ喪ハ七日以内
 - ロ、祖父母兄弟姉妹ノ喪ハ五日以内、其他ハ二日以内
- 三 生徒休學又ハ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ親權者連署ノ上願出ツヘシ但シ其ノ事由カ病氣ノ爲メナルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ
- 四 諸願届ハ凡テ學校長宛トシ用紙ハ半紙ヲ用フヘシ

四、制服規程

帽子

形式 海軍型
地質 黒絨若ハ濃紺羅紗

徽章 銀色

白線 細リボン二條(幅二分)

耳鈕 眞鍮製(本校徽章入)

腮紐 黒革

服

形式 立襟 背廣

地質 冬服(十月ヨリ五月マテ)黒若ハ濃紺ヘル又ハ小倉

夏服(六月ヨリ九月マテ)霜降小倉

靴鈕 黒煉物徽章入り

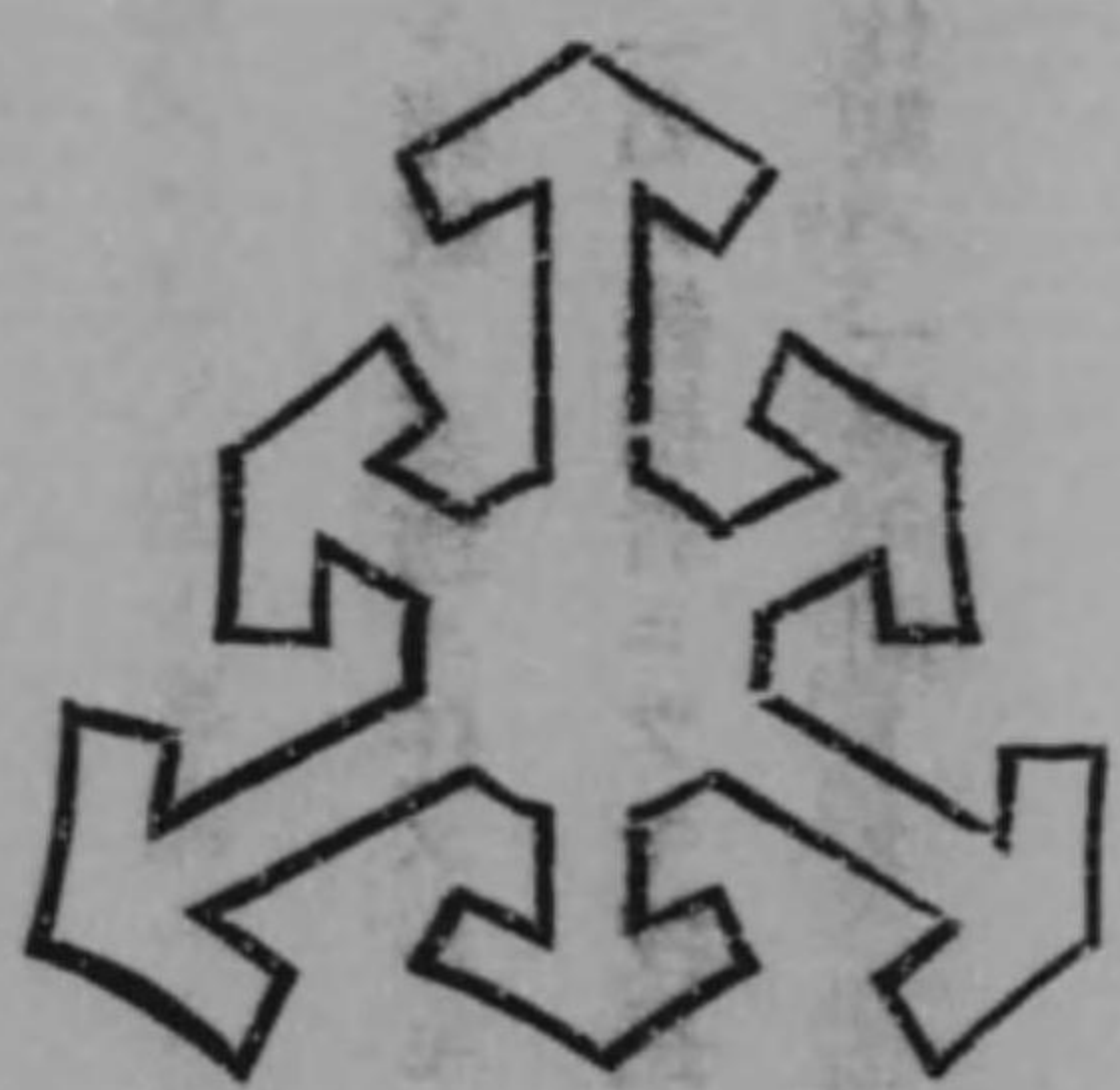
短靴又ハ編上(黒革)

外套

形式 兩前

地質 黒若ハ濃紺羅紗

鈕 徽章入眞鍮鈕



○制服規程

○學級總代規程

但黒若ハ濃紺雜紗マントハ之ヲ代用スルコトヲ得

略 帽

形式

麥稈製普通形(縁約三寸、高約三寸)

鉢 卷

黒地(幅約一寸七分)ニ白線二條(幅二分)徽章ヲ附スヘシ

着用期間ハ夏服着用期間ニ同シ但儀式及体操ノ時ハ必ス制帽ヲ着用スヘシ

脚 袴

形式

卷脚袴

地 質

綿布又ハ羅紗(黒又ハ濃紺)

五、學級總代規程

第一條 各學級ニ正副總代各一名ヲ置ク

第二條 學級總代ハ學級主任ノ指揮ノ下ニ其ノ學級ニ關スル諸般ノ要務ニ任スルモノトス

第三條 學級總代ハ各學級ニ於テ生徒ノ互選ニ係ル正副各二名ノ候補者ニツキ校長之ヲ任命ス

第四條 學級總代ノ選舉及任命ハ各學年ノ始メニ行ヒ其ノ任期ハ一學年間トス

但第一學年ニアリテハ第二學期ノ始メニ行フ

六、通學生規程

第一條 通學生徒ハ宿所選定ノ日ヨリ三日以内ニ學級主任ノ承認ヲ經テ宿所届テ生徒課ニ差出ス

ヘシ轉宿ノ時亦同シ

宿所届用紙ハ生徒課ニ於テ交附ス

第二條 通學生徒ニハ其ノ宿所ノ位置宿王ノ職業家庭ノ狀態又ハ其ノ他ノ事情ニシテ不適當ト認

ムル時ハ他ニ轉宿ヲ命スルコトアルヘシ

七、寄宿舎規程

第一條 寄宿生ハ規約ヲ定メ校長ノ認可ヲ經テ之ヲ實行スヘシ

規約ヲ以テ定ムル事項左ノ如シ

一 舎内ノ秩序整頓及風儀ニ關スルコト

一 舎内ノ清潔衛生ニ關スルコト

一 炊事々務炊事監督ニ關スルコト

一 其ノ他必要ナル事項

第二條 各室人員ノ配當ハ生徒主事之ヲ定ム

○通學生規程○寄宿舎規程

○寄宿舎規程

二八

- 第三條 各寮ニ三名ノ委員ヲ置ク内二名以上ハ二年級以上トス
委員ハ各寮生徒ノ互選ニ係ル六名ノ候補者ニツキ生徒主事之ヲ任命ス
委員ノ内ヨリ總務及副總務各一名ヲ互選セシム
- 第四條 各室ニ一名ノ總代ヲ置ク總代ハ其室員ノ互選トス
- 第五條 總務、副總務、委員及總代ノ任期ハ一學期間トス
- 第六條 總務、副總務及委員ハ生徒主事ノ指導ニヨリ舎内整理ノ責ニ任シ規約ノ實行ヲ督勵ス
- 第七條 寄宿生ハ門限後其ノ他隨時點檢ヲ受クルモノトス
點檢ノ方法ハ生徒主事之ヲ定ム
- 第八條 外出時限ハ午前六時ヨリ午後十時マテトス但シ翌日休業ナルトキハ午後十一時迄トス
- 第九條 已ムヲ得サル事情ノタメ所定ノ時限外ニ外出セントスル者ハ豫メ委員ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十條 外出中已ムヲ得サル事情アリテ歸寮時ニ遅レタルモノハ翌日中委員ニ届出ツヘシ
- 第十一條 已ムヲ得サル事情アリテ外泊セントスル者ハ豫メ委員ノ承認ヲ得テ寮務係ニ届出ツヘシ
外出中俄ニ外泊セサルヘカラサル事情生シ前項ノ手續キヲナスコト能ハサルトキハ速ニ其ノ事由
ト居所トテ寮務係ニ届出テ歸寮ノ際委員ヲ經テ寮務係ニ届出ツヘシ

八、自修寮規程

- 第一條 本校生徒ノ相集リテ一家屋全部ヲ借入レ自炊生活ヲナスモノニシテ左ノ各號ノ一ニ該當
スルモノヨリ申出アル時ハ詮議ノ上之ヲ自修寮トナスコトアル可シ
- 一 七人以上ノ團體ニシテ一ケ年以上繼續ノ見込アルモノ
- 二 生徒五人若クハ六人ノ團體ニシテ既往二ケ年以上繼續シ成績良好ニシテ尙一ケ年以上繼續ノ
見込アルモノ
- 第二條 自修寮ニ充ツヘキ家屋ハ左ノ各號ニ該當スルコトヲ要ス
- 一 生徒七人以上ヲ收容シ得ルコト
- 二 空氣ノ流通飲料水ノ善良ニシテ衛生ニ適シ且料理店等風儀ヲ紊スモノニ餘リ近カラサルコト
- 三 同家屋内ニ他ノ居住人ナク勉學ニ適スルコト
- 第三條 自修寮ニ對シテハ一人一ケ月金壹圓五拾錢ノ割合ノ金額ヲ補助シ現在人員ニ依リ翌月上
旬ニ於テ之ヲ交附ス
- 第四條 自修寮ニシテ團體員ニ異動アリタルトキハ其ノ氏名ヲ具シ速ニ代表者ヨリ生徒課ニ届出
ツヘシ

○自修寮規程

二九

○自修寮規程○寮生規約

三〇

第五條 第一條第一號ニ依リ設置シタル自修寮ニシテ人員減少スルモ五人以上ナルトキハ之ヲ繼續ス

自修寮ニシテ人員減少シ五人未滿トナリタルトキハ之ヲ廢止ス

第六條 自修寮ニシテ不都合アリト認ムヘキモノアル時ハ之ヲ廢止スルコトアルヘシ
備考 自修寮ニ收容ス可キ總人員ハ本年ハ二十人ヲ以テ限度トス

九、寮生規約

第一條 吾等寮生ハ本校綱領ニ據リ質實剛健ノ氣風ヲ養成シ以テ校風發揚ノ中心タランコトヲ期ス

第二條 寄宿舎規程第三條ニ依リ舎内ニ左ノ役員ヲ置ク

總務一名、副總務一名、衛生委員、炊事委員若干名

第三條 總務ハ委員ノ事務ヲ總理シ副總務ハ總務ヲ補佐ス

衛生委員ハ衛生ニ關シ炊事委員ハ炊事ニ關スル全般ヲ處理スルモノトス

第四條 舎内秩序整頓及風紀ニ關スル事ハ全委員其責ニ任スルモノトス

第五條 委員ハ交互ニ當番委員トナリ舎生ノ點檢ヲナスモノトス

第六條 各室ニ室員互選ニ係ル總代一名ヲ置ク總代ハ各室ノ取締ニ任シ且室員ノ意見ヲ代表スル

モノトス

但シ其ノ任期ハ一學期間トス

第七條 委員及總代ハ特別ノ事情アルモノノ外辭退スルコトヲ得ス

第八條 點檢後歸寮シタルモノハ其ノ時刻及理由ヲ當番委員ニ通知スヘシ

第九條 舎生ノ守ルヘキ事項左ノ如シ

一 舎則ニ違背セサルコト

二 舎生ノ體面ヲ保ツヘキコト

三 飲酒セサルコト

四 規定ノ時間内ニ於テハ持ニ音讀ヲ禁シ他ノ妨害トナラサル様靜肅ニスヘキコト

五 濫リニ他人ノ室ニ立入ラサルコト

六 他人ノ安眠ヲ妨ケサルコト

七 唾沫、吸殻等ニ山リ室内及廊下ヲ汚穢セサルコト

八 外出ノ際ハ必ス制服制帽又ハ袴ヲ着用スルコト

○寮生規約

三一

○寮生規約

三二

- 九 來訪者ノ面會ハ應接室ニ於テナスヘキコト
- 一〇 火元ニ注意スルコト
- 一一 總テ器具ヲ紛失シ又ハ破損シタル時ハ辨償スヘキコト
- 一二 室内ノ整頓、清潔ニ注意スヘキコト

第十條 食事ニ關スル注意事項

- 一 食堂内ニテハ相當ノ禮儀ヲ守ルヘキコト
 - 二 病氣ノ外ハ自室内ニテ食事セサルコト
 - 三 食事ハ規定ノ時間ニナスヘキコト
 - 四 食事ノ良否ニ關スル事項ハ炊事委員ニ直接申出ツヘキコト
 - 五 病氣等ノタメ粥等ヲ希望スルモノハ豫メ炊事委員ニ申出ツヘキコト
 - 六 完全ニ三食ヲ欠食スルコト且日ニ亘ル時ハ豫メ届出テアリタルモノニ限り一日定額ノ割合ニテ一日分ノ食費ヲ拂戻スヘシ
- 定額ハ物價ノ變動ニヨリ隨時之ヲ定ム

第十一條 以上ノ諸規約ハ今後之ヲ變更セントスル場合ニハ寮生大會ノ決議ヲ經テ生徒主事ニ申告

シ校長ノ許可ヲ可クヘキモノトス

一〇、醫務室規程

- 一 本校ニ醫務室ヲ置キ醫師一名ヲ囑託シテ診察醫トス
 - 一 醫務室ニ關スル事項ハ生徒課ノ所管トス
 - 一 診察醫ハ一週三回(月、水、金)午後三時ヨリ醫務室ニ於テ診察ヲ行フ
 - 一 診察醫ハ左記事項ヲ實施ス
 - 1 本校職員、生徒ノ病氣並ニ外傷等ノ診斷、應急手當及簡易ナル治療
 - 2 欠席届體操免除若ハ見學願、退舍若ハ外泊願其他生徒トシテ必要ナル願届書ニ添付スヘキ診斷書ノ作製
- 但シ欠席届ニ添付スル診斷書ニ限り病氣中又ハ遠隔ノ地ニアルタメ醫務室ニ於テ診斷ヲ受クルコト能ハサルモノハ他ノ醫師ノ診斷書ニテ差支ナシ又貸給費出願及其他ニ必要ナル身體検査書ニシテ校醫ヨリ受ケル必要アルモノハ從前ノ通りトス
- 一 受診者ハ生徒課ニ備付ノ受診受付簿ニ診察日ノ午後二時半迄ニ署名シ午後三時迄ニ集會所階下生徒食堂ニ集合シ待合スヘシ但シ二時半以後ニ於テ特ニ受診ノ必要ヲ生シタルモノハ三時迄ニ醫

○醫務室規程

三三

務室ニ出頭シテ受診ノ旨ヲ申告スヘシ

一一、寄宿舎警火規程 (省略)

一二、寄宿舎非常手配規程 (省略)

一三、圖書ニ關スル規程

第一條 本校所有ノ圖書ハ凡テ書庫ニ藏置ス

第二條 書庫ニハ亦便宜本校ノ借り受ケタル圖書及他ノ寄託ニ係ル圖書ヲモ保管スルコトアルヘシ

第三條 擔任事務員ノ外濫ニ書庫ニ入ルコトヲ得ス

第四條 教官並ニ校長ノ許可ヲ得タルモノハ必要ノ場合書庫ニ入り圖書ヲ檢索スルコトヲ得但シ決シテ圖書ノ位置ヲ錯乱スルコトヲ得ス

第五條 本校ノ職員及生徒其ノ他校長ヨリ特別ノ許可ヲ得タルモノハ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第六條 圖書閱覽室ハ左ノ間毎日午前八時ヨリ午後九時マテ之ヲ開ク

一 四月十日ヨリ七月十日マテ

二 九月六日ヨリ十二月二十四日マテ

三 一月八日ヨリ三月十日マテ

但シ

一 式日祭日ハ閉室ス

二 日曜日ハ午後六時ヨリ午後九時マテ開室ス

第七條 前條閱覽室閉閉ノ期間及時間ハ臨時變更スルコトアルヘシ其ノ場合ハ揭示ヲ以テ之ヲ豫告ス

第八條 生徒ニシテ閱覽セントスルモノハ學年ノ始毎ニ認印持參ノ上圖書課ニ就テ閱覽票ノ交付ヲ受クヘシ

第九條 生徒及特別閱覽者ニシテ閱覽セントスルモノハ目錄ニツキ其ノ圖書ヲ檢出シ規定ノ用紙ニ一切ノ手續ヲナシ閱覽票ト共ニ係員ニ差出スヘシ

但シ時宜ニヨリ閱覽ヲ謝絶スルコトアルヘシ

第十條 閱覽者ハ閱覽了レハ直ニ返納シテ閱覽票ノ還附ヲ受クヘシ

第十一條 第九條ノ手續ニヨリ借受セル圖書ハ總テ 覽室外ニ携出シ又ハ他人ニ轉貸スルコトヲ許

サス

第十二條 閱覽者一人ニシテ一時ニ借覽シ得ヘキ圖書ハ洋裝ノモノ五冊以内、和漢裝ノモノ十冊以内トス但シ圖書課長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ制限ヲ超過スルコトヲ得

第十三條 生徒ノ研究ニ便スル爲メ參考書ヲ生徒圖書閱覽室ニ備ヘ付ケ第九條ノ手續ヲ要セス自由

閱覽ニ供スルコトアルヘシ

第十四條 閱覽票ハ他人ニ轉貸スルヲ得ス

第十五條 閱覽票ヲ紛失シタル時ハ速ニ其ノ旨ヲ圖書課ニ届出テ更ニ交付ヲ請フヘシ

第十六條 各學科主任ハ參考上必要ノ圖書ヲ借受シ之ヲ特別ノ場所ニ備ヘ付ケ其ノ科教官ノ共用ニ

供シ且ツ其管理ノ下ニ生徒ニ閱覽セシムルコトヲ得、各課長ハ各課ニ於テ事務上必要ノ圖書ヲ借受シ之ヲ課室ニ備ヘ付ケテ使用スルコトヲ得

第十七條 類書辭書貴重書寄託書借用書並ニ一般費目ヲ以テ購入セル特定ノ圖書等ハ借受ケ携出スルコトヲ得ス、但シ特ニ校長ノ許可ヲ得タルモノハ此限リニアラス

第十八條 各學科主任ハ其ノ科費目ヲ以テ購入セル圖書中特ニ生徒ノ參考トナルヘキ圖書ヲ選定シ圖書課長ニ協議ノ上生徒使用圖書トシテ指定セラレタル圖書ハ借受携帶スルコトヲ得ス但シ特ニ

校長ノ許可ヲ得タルモノハ此限リニアラス

第十九條 教官ハ本校所藏ノ圖書ヲ參考用トシテ一員二十冊、事務員ハ調査用トシテ一員三冊ヲ限

リ(和漢裝ノモノハ其ノ冊數ヲ倍スルコトヲ得)借受ケ携出スルコトヲ得但シ必要ニヨリテハ其貸

出冊數ヲ増スコトヲ得

第二十條 圖書ヲ借受携出セントスルモノハ圖書課ニ就キ所定ノ手續ヲナスヘシ

第二十一條 借り受ケタル圖書ハ使用了リタル時ハ速ニ返納スルハ勿論學年末マテニハ悉皆返納ス

ヘシ、必要ノ場合ニハ臨時返納セシムルコトアルヘシ

第二十二條 共用借受ノ圖書ニ限り掛員出張ノ上點檢ヲ行フ

第二十三條 定期刊行ノ雜誌等ニシテ一般的ノモノハ校用ヲ除ク外到着ノ日ヨリ一週間ヲ過クルニ

非サレハ借受携出スルコトヲ得ス

第二十四條 借受ケタル圖書ヲ紛失、毀損又ハ汚染シタルモノハ會計法規ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ責

ニ任ス

第二十五條 凡テ本規程ニ違反シタルモノハ圖書貸附及閱覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第二十六條 特別閱覽者ハ圖書課ニ就キ特別閱覽票ノ交付ヲ受クヘシ

第二十七條 參考用トシテ職員生徒ノ閱覽ニ供スル目的ヲ以テ圖書ヲ寄託セントスルモノハ其ノ著譯者名、圖書名、裝訂別、冊數及見積價格ヲ具シ寄託期限ヲ定メテ校長ノ承諾ヲ受ケ然ル後現品ヲ本校ニ送致スルモノトス本校ハ之ニ對シ保管證ヲ交附ス

第二十八條 火災盜難其ノ他不慮ノ災難ニ依リ寄託圖書ニ損失ヲ來スコトアルモ本校ハ其ノ責ニ任セス

一四、物品會計規程施行細則

第一章 總 則

第一條 本校所有ニ屬スル物品ハ學校長之ヲ管理シ其ノ保管及出納ハ物品會計規則及文部省直轄學校各部物品會計規定ニ基キ此細則ニ依リ處理スヘシ

第二條 物品ヲ大別シテ備品、消耗品ニ分チ備品ノ用途ヲ專用共用ノ二種トス但シ備品消耗品ノ種別ハ學校長之ヲ定ム

共用トハ各部ニ於テ共用スルモノヲ云ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ云フ

第三條 各部ニ於テ通常所要ノ物品ハ毎年度始メニ於テ其ノ員數ヲ豫定シ會計掛ニ通報スヘシ但シ學術用機械標本等ニシテ豫定シ難キモノハ此ノ限りニ非ス

第二章 出 納

第四條 物品ノ出納ハ校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第五條 通常所要ノ物品ニシテ定數アルモノハ其ノ以內ニ於テ物品會計官吏直ニ之ヲ執行シ臨時ノ所要ノ物品ハ各部ノ請求ニ依リ學校長ノ決裁ヲ受ケ執行スヘシ

第六條 機械ノ製作及修理ニ學術上特種ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スル場合ハ便宜上各部ニ於テ營業者ノ見積書ヲ徴シ(外國製品等ニシテ見積書ヲ徴ス能ハサルトキハ之カ調書ヲ添付)會計係ニ請求スヘシ

第七條 物品會計官吏ニ於テ受入シタル物品ヲ支給セントスル時ハ普通備品ニアリテハ番號札ヲ物品ニ付シ共用品ト専用物品トニ分チ備品支給簿ニ登記シ消耗品ニアリテハ消耗品出納簿ニ登記シタル後之ヲ物品監守者又ハ物品取扱主任者ニ配付シ受領ノ證トシテ帳簿ニ捺印セシメ若クハ領收證書ヲ徴スヘシ

第八條 監守者若クハ取扱主任者ニ於テ物品ヲ受取リタル時ハ備品ニ屬スルモノハ備品監守簿消耗品ニ屬スルモノハ消耗品受拂簿ニ記入スヘシ

第九條 物品ノ不用ニ歸シタルモノアル時ハ直ニ之ヲ會計掛ニ返付スヘシ

○物品會計規程施行細則

會計掛ハ其ノ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ經テ處理スヘシ

第三章 保管及監督

第十條 各部受入物品ハ一定ノ場所ニ藏置シ之ヲ毀損シ又ハ紛失セサル様注意スヘシ
使用中ノ物品ハ時々修理ヲ要スルモノノ目數ヲ調査シ之カ請求ヲナスヘシ

第十一條 使用中ノ物品ハ物品會計官更ニ於テ左ノ事項ニ依リ監督スヘシ

- 一 各學期一回以上消耗品支給簿ト現品ト照合スルコト
- 一 毎年一回以上備品支給簿及消耗品支給簿ヲ以テ各部ニ就キ現品ヲ査閲シ且各部ノ監守簿受拂簿ノ調査ヲナシ學校長ニ報告スルコト

一 前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シ又ハ其ノ使用上ニ付意見アル時ハ學校長ニ其ノ處理ヲ求ムルコト

第十二條 共用備品ノ監守及消耗品取扱ノ爲各部ニ物品監守者及物品取扱主任者ヲ置ク但シ專用物品ハ各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十三條 物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタル時ハ物品監守者ニ於テ其ノ實況ヲ詳記シ物品會計官更ヲ經テ學校長ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ物品檢閲委員ノ合議ヲ經學校長ノ裁定ヲ得テ責任者ヲシテ之ヲ修理セシメ又ハ代品若クハ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

第四章 檢 閲

第十四條 學校長ハ物品檢閲委員若干名ヲ設ケテ本校所有品ノ保管及使用ヲ檢閲セシムヘシ
但シ檢閲ヲ分チ定期臨時ノ二種トス

第十五條 定期檢閲ハ毎年六月乃至十月其ノ時日ヲ定メテ之ヲ施行シ臨時檢閲ハ臨時之ヲ施行スヘシ

第十六條 物品檢閲委員ノ檢閲スヘキ事項左ノ如シ

- 一 物品保管ノ適否
- 一 物品使用及消費ノ適否
- 一 物品缺損ノ有無
- 一 備品及消耗品ノ支給定數過不足
- 一 帳簿ト現品トノ對照

第十七條 物品檢閲ノ際ハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ席ニ列シテ檢閲ヲ受クヘシ

○物品會計規程施行細則

第十八條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認ムル時ハ帳簿ニ捺印シテ之ヲ證スヘシ若シ故障

アル時ハ該當責任者ヨリ仕末書ヲ差出サシメ處分了ルヲ俟チテ前記ノ手續キヲナスヘシ

第十九條 物品檢閲ヲ終リタルトキハ其ノ顛末ヲ具シ意見ヲ附シテ學校長ニ申報スヘシ

第五章 帳簿

第二十條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲メ左ノ帳簿ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ

一 物品出納簿

證票ニ基キ物品ノ出納ヲ記入シ及在庫並ニ使用物品ノ現在ヲ明ニス

一 備品支給明細簿

命令文書ニ基キ使用ニ供シタル物品ヲ記入シ所在ヲ明ニシ監守者ヲシテ受領ノ印ヲ押捺セシム

一 消耗品支給簿

命令文書ニ基キ支給ノ物品ヲ記入シ取扱主任者ヲシテ受領ノ印ヲ押捺セシム

第二十一條 各部ニ於テハ備品監守簿及消耗品受拂簿ヲ備ヘテ物品現存及受拂ヲ明確ナラシムヘシ

第二十二條 帳簿様式ハ別紙ノ通相定ム(別紙省略)

一五、非常警備ニ關スル規程

第一條 校內若ハ近傍ニ於テ火災其ノ他非常事變アリタルトキハ電話又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ直

ニ學校長教頭各課長及學校附近所在ノ職員ニ報知スヘシ

第二條 非常ノ際ハ職員及生徒ハ直ニ駆付ケ左ノ任務ニ従事スヘシ

一 報知 學校長其ノ他第一條ニ掲ケル職員、生徒主事、寄宿舎、警察署ヘ報知スヘシ

二 消防 消火器、消火栓、唧筒其ノ他適當ノ方法ニ依ルヘシ

三 運搬 各室內非常持退ノ印シアルモノ、圖書、機械標本、其ノ他ノ器具

四 警衛 門及其ノ他要所ニ高張提灯ヲ掲ケルコト、職員及ヒ生徒ハ應援者ノ外妄リニ構内

ニ入ラシメサルコト、搬出品ヲ監守スルコト

第三條 非常用トシテ常ニ左ノ器具ヲ備付ケ且ツ其ノ所在及使用方法等ヲ一般ニ周知セシムヘシ

イ 消火器 口 輕便唧筒及水管 高張提灯

ニ用心桶 ホ 其ノ他必要ノ器具

前項ノ器具ハ庶務課ニ於テ時々検査スヘシ

第四條 本校職員ノ住宅等火災ノ節又ハ其ノ處アルトキハ本校生徒ヲシテ臨機應援セシムルコト

アルヘシ

第五條 煙突ハ每週所定ノ回数之ヲ掃除シ電燈線及瓦斯栓ニ異狀ヲ發見シタルトキハ直ニ絶緣器ヲ外シ其ノ旨各會社ニ急報スヘシ

第六條 火鉢煖爐等使用中ハ特ニ注意シ終業退廳後又ハ使用後ハ直ニ火氣及灰燼ヲ取除カシメ一定ノ場所ニ於テ之カ處置ヲナスヘシ

一六、宿直心得

第一條 執務時間外ニ生スル事務ヲ處理シ且ツ警備ニ任スル爲メ宿直ヲ置ク

宿直ノ時限左ノ如シ

一 平日ハ退廳時刻ヨリ翌朝出勤時刻マテ

二 休日ハ晝間ハ昇廳時刻ヨリ退廳時刻マテ及ヒ同夜間ハ退廳時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ但シ寮務係ハ平日ハ退廳時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ休日ハ昇廳時刻ヨリ翌日出勤時刻マテ

第二條 宿直員ハ書記及事務員以下輪番ヲ以テ擔任スルモノトス但シ其ノ順番ハ別ニ之ヲ定ム

第三條 第二條以外ノ職員ノ宿直ヲ必要ト認ムル場合ニハ學校長特ニ之ヲ命ス

第四條 宿直員ハ勤務中學校ヲ離ルルコトヲ得ス

第五條 宿直員ハ其ノ勤務中取扱ヒタル事件ヲ宿直日誌ニ認メ翌日庶務課長ニ申報スヘシ若シ翌日休暇ナルトキハ交代ノモノニ必ス事務ノ引繼ヲナシ退出スヘシ

第六條 左ノ各號ノ一ニ當ルモノハ宿直ヲ免ス

一 出張ノ前日及歸校ノ翌日

二 缺勤中

三 賜暇ノ當日

四 忌引中

五 新任者ハ着任ノ日ヨリ起算シ七日目ニ於テ席次ニ編入ス

六 以上ノ外學校長ニ於テ除直スヘキ必要アリト認メタルトキ

第七條 宿直員ハ止ムヲ得サル事故ノ爲メ當日ノ勤務ニ差支アルトキハ同僚ヲ以テ代直ヲ立ツルコトヲ得

第八條 宿直員ハ宿直ノ際庶務課ヨリ左ノ物件ヲ受取ルヘシ

一 宿直日誌

二 諸室ノ鎖鑰

○宿直心得

○宿直心得

四六

三 職員住所簿

四 電信用符號表

五 宿直用郵便切手及發送簿

第九條 宿直員勤務ノ主要事項概ネ左ノ如シ

一 第八條ノ物件ノ保管ヲナスコト

二 校丁ヲ監督シ校舍内外ノ取締ヲナスコト

三 接受シタル物件ヲ處理スルコト

四 烈風及變時ニハ特ニ注意シ校舍ノ内外ヲ巡視シ火氣其他火災ノ虞アル器物ノ取締ヲナスコト

第十條 宿直中接受シタル物件ハ左ノ取扱ヲナスヘシ

一 親展公文書並職員宛私文書及其他ノ物件ハ翌日夫々之ヲ回付シ電報其ノ他急速ヲ要スト認
メ得ヘキモノハ直ニ宛名ノモノニ送達スヘシ

二 親展ニアラサル公文書ハ直ニ開封シ夫々處理スヘシ

第十一條 宿直中非常異變アルトキハ直ニ學校長、教頭、各課長及學校附近所在ノ職員ニ報知シ事
急ナルトキハ臨機ノ處置ヲナスヘシ但シ別ニ定ムル非常警備ニ關スル規程ニ準據スヘシ

一七、文書處理及保存規程

第一條 本校ニ到達シタル文書ハ親展其他特定ノモノヲ除キ庶務課ニ於テ開封シ文書件名簿ニ其
件名年月日及發信者ヲ記シ主務課ニ送付シ認印ヲ徵スヘシ

主務課ニ於テハ收受文書ニ收受年月日及課名ノ一字及受付 號ヲ附シ之ヲ處理スヘシ發送文書ニ
就テモ亦同シ

番號ハ學年ノ始メニ起リ學年ノ終リニ止メ其番號ノ首ニ(昭和年度)ヲ附ス但シ文書ノ完結ニ至ル
マテ同一番號ヲ附スヘシ

例規トナルヘキ訓令及通牒等ハ主務課ニ於テ其謄本ヲ作り原本ハ速ニ庶務課ニ返附スヘシ

第二條 收受セル文書ニ就キテハ主務課ハ速ニ起案シ決裁ヲ受クヘシ決裁後ノ文書ニシテ發送ヲ
要スルモノハ其課ニ於テ淨寫校合ノ上回議案ト契印ヲナシ施行年月日、番號ヲ記シ且ツ件名簿ニ
記入シ回議案ト共ニ庶務課ニ送付シ官印、校印ノ押捺ヲ求ムヘシ

淨寫及校合者ハ其ノ回議案ニ認印ヲ押捺スヘシ

第三條 數課ニ關係アル文書ハ主務課又ハ其關係最モ多キ課ニ於テ處理案ヲ草シ當該課長ノ決裁
後他課ニ合議スヘシ

○文書處理及保存規程

四七

○文書處理及保存規程

- 第四條 文書發送ニ際シ親展又ハ書留郵便至急電報等特別ノ取扱ヲ要スルモノハ主務者ニ於テ其
回議案ニ標記スヘシ
- 第五條 庶務課ニ於テハ郵便發送ニ係ルモノハ郵便發送簿ニ其宛名、年月日、及其件名ヲ記シ之
レカ處理ヲナスヘシ
- 第六條 使送ニヨル文書ハ各課ニ於テ送付簿ヲ作製シ其宛名、年月日、番號及其件名ヲ記載シテ
庶務課ニ送付スヘシ
- 第七條 左ノ文書ハ主務課長又ハ關係課長限リ處分スヘシ
- 一 生徒在學證明ニ關シ徵兵事務ニ關係ナキモノ
 - 一 生徒ノ學業成績證明ニ關スルモノ
 - 一 生徒ノ宿所、入退舍及諸届ニ關スルモノ
 - 一 物品ノ支給ニ關スルモノ
 - 一 一定ノ例規ニヨルモノ
- 前各號ニシテ其性質重大ト認ムルモノハ此ノ限ニアラス
- 第八條 左ノ文書ハ庶務課ヲ經由セス主務課ニ於テ授受スヘシ

一 教務ニ關シ教官ヨリ提出スル報告書類

一 教官及生徒ヨリ差出ス願届書類

一 入學志願者受験名票

- 第九條 施行濟又ハ閱覽濟文書ニシテ完結ノモノハ主務課ニ於テ種類別ヲナシ該課件名簿ニ記入
ノ上之ヲ編纂シ其冊首ニ番號及索引目錄ヲ付シ必要期間當該課ニ保管スヘシ
- 前項ノ文書ニシテ當該課ニ於テ保管ノ要ナキニ至リタルトキハ之ヲ庶務課ニ引繼クヘシ
- 第十條 文書ノ保存ヲ區別シテ永年、十年、五年、一年ノ四種トシ其保存スヘキ書目ハ各課ニ於
テ學校長ノ許可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ
- 第十一條 會計ニ關スル諸帳簿ハ會計規則ノ定ムル所ニ依ル
- 第十二條 保存期限ノ計算ハ文書完結ノ翌年度四月ヨリ起算ス
- 第十三條 保存文書ハ文書完結ノ日ヨリ翌年ヲ以テ分界ス但シ歲入歳出及物品會計ニ關スルモノハ
其翌年度ニ依ル
- 第十四條 文書ノ保存編次ハ完結ノ前後ニ依リ一事件中ノ文書ノ順序ヲ正シ編綴スヘシ
- 第十五條 永年保存文書ハ學年若ハ累年ニ其期限アル文書ハ學年ニ編綴スヘシ但シ一年間保存ヲ除

○文書處理及保存規程

ク外ノ文書ハ何レモ其ノ冊首ニ索引目錄ヲ附スヘシ

第十六條 保存文書ニシテ他ノ書目ニ關聯スルモノハ其重キ方ニ編綴シ一方ノ索引ニハ其要旨ヲ記載スヘシ

第十七條 限存期限ヲ經過シタル文書ハ主務課ニ合議シ官印ヲ塗抹シ學校長ノ指揮ニヨリ處分スヘシ

保存期限中ノ文書ニシテ保存ノ必要ナシト認ムルモノ亦同シ

第十八條 保存文書ハ庶務課ニ就キ閱覽スヘシ但シ機密文書ハ學校長ノ許可ヲ得タル者ニナラサレハ閱覽スルコトヲ得ス

第十九條 保存文書ノ借覽ヲ要スル者ハ三日以内ノ期限ヲ以テ庶務課備付ノ貸附簿ニ書目番號氏名ヲ記載シ捺印スヘシ

第二十條 本規程ニ依リ難キモノハ特ニ學校長ノ許可ヲ經テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

一八、御眞影奉安奉護規程
御眞影ノ奉安奉護ニ關シテハ學校長監督指導ノ下ニ本校職員舉ツテ其ノ任ニ當ルベキハ勿論ナルモ尙左記條項ニ依リ之カ萬全ヲ期セントス

○常時

一 平時 御眞影ノ奉安奉護ニ關スル事項ハ學校長ノ命ニ依リ庶務課ニ於テ之カ實務ヲ奉仕スルモノトス

二 庶務課員ハ常ニ奉安庫ノ内外ニ留意シ扉ノ開閉、施錠ノ安否及庫内濕氣ノ浸入等其ノ他異狀ノ有無ヲ確メ置クヘシ

三 毎月二十九日若ハ其ノ前後二、三日間ニ於テ成ルヘク晴天ノ日ヲ選ヒ御眞影ニ御異狀ナキヤヲ奉檢スヘシ

四 庶務課ニ於テ豫メ帳簿ヲ作製シ奉檢セシ月日、當時ノ御模樣及其ノ他必要ノ事項ヲ記錄シ置クヘシ

五 前條ニ依リ奉檢ノ結果萬々一ニモ御異狀等ヲ發見シタル時ハ直チニ學校長ニ之ヲ報告シ其ノ原因ヲ探究シテ極力之カ防止ニ努ムルハ勿論其ノ位置、程度及其ノ處理方法等ヲ詳細記錄シ置クヘシ

六 一年中適當ノ時季即チ春秋各一回約半日間御眞影ヲ不敬ニ涉ラサル個處ニ奉遷シテ御虫干ヲ爲シ奉安庫及金庫ノ扉ヲ開放シ奉納ノ木箱、奉包ノ紙、袱紗及奉遷用靴ヲ通風乾燥シ必要ト認ムレ

ハ之カ取換ヘテ行フヘシ

七 學校休業日出勤時間外ニ於テハ當宿直ハ奉安庫及其ノ附近巡視ノ責ニ任スルハ勿論必要ニ應シ奉安奉護ノ實務ヲ奉仕スルモノトス

八 奉安庫ノ鍵ハ常時庶務課ニ於テ之ヲ保管シ退廳時ハ當宿直員ニ之ヲ引繼クモノトス

○非常時

一 非常時ニ於テハ事ノ如何ニ關ラス御眞影奉護ノ爲庶務課員他事ヲ顧慮セス迅速ニ適宜ノ處置ヲ執ルヘシト雖モ本校職員ハ何人ヲ問ハス機ニ臨ミ變ニ應シテ最善ノ途ヲ講シ萬遺憾ナキヲ期スヘシ

二 本校構内若ハ隣接ノ地域ニ火災起リ延燒ノ虞レアリト認メタルトキハ風ノ方向ニ依リ左記ノ個所ニ奉遷スヘシ

風向キカ西風、西南ノ風、南東ノ風ノ時 醫大若ハ縣廳ヘ

同 北風、北東ノ風、北西ノ風ノ時 二葉小學校ヘ

同 南風、東風ノ時 新潟小學校ヘ 場合ニ依リ師範學校ヘ

三 非常時ト雖モ事變ノ程度ニ依リ急ニ奉遷ノ必要ナシト認メタル時ハ職員及生徒ヲシテ奉安庫及

其ノ附近ノ警衛ニ當ラシムヘシ

右ノ場合職員及生徒ノ員數ハ事ノ性質、緩急等ニ依リ學校長ハ臨機之ヲ指圖ス

四 教育勅語謄本ノ奉安奉護ニ關シテハ御眞影奉安奉護ノ規程ニ準ス

新潟高等學校校友會規則

第一條 本會ノ目的ハ會員ノ心身ヲ鍊磨シ併セテ其和衷協同ヲ圖ルニアリ

第二條 本會ハ新潟高等學校校友會ト稱ス

第三條 本會ノ目的ヲ達スルタメニ左ノ十七部ヲ置ク

- 圖書部
- 文藝部
- 辯論部
- 柔道部
- 劍道部
- 弓道部
- 水泳部
- 庭球部
- 野球部
- 陸上競技部
- 蹴球部
- 籠球部
- 相撲部
- スキー部
- 山岳部
- 音樂部
- 繪畫部
- 園藝部

第四條 本會ニ別ニ購買部ヲ置ク

購買部ハ會員ニ必要ナル物品ノ共同購買ト本會各部所要ノ物品ノ購買トヲ行フ

第五條 本會會員ハ左ノ二種トス

○御眞影奉安奉護規程 ○新潟高等學校校友會會則

特別會員

本校職員

通常會員

本校生徒

第六條 特別會員ハ特別會費ヲ納ムルモノトス

第七條 通常會員ハ第三條ノ一部若クハ數部ニ屬スルモノトス

通常會員ハ入會ノ際入會金トシテ金貳圓ヲ納ムルモノトス

通常會員ハ毎年所屬各部所定ノ部費ヲ納ムルモノトス

第八條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

一名

本校校長ヲ推ス

理事

一名

特別會員中ニツキ會長之ヲ委囑ス

部長

各一名

右ニ同シ

副部長

若干名

右ニ同シ

出納係

若干名

右ニ同シ

庶務係

若干名

右ニ同シ

各部委員

若干名

當該各部所屬通常會員ノ互選ニ係ル候補者ノ中ニツキ部長之

ヲ委囑ス

第九條 會長ハ本會ヲ總理ス

第十條 理事ハ會長ヲ輔佐シ本會ノ會計並ニ庶務ヲ統ヘ出納係及庶務係ヲ監督ス

第十一條 部長ハ當該部ヲ總理ス

第十二條 副部長ハ部長ヲ輔佐ス

第十三條 出納係ハ本會ノ金錢出納ヲ掌リ庶務係ハ本會ノ庶務一切ヲ掌ル

第十四條 委員ハ當該部ノ庶務及會計ヲ處理ス

第十五條 本會一般ノ事業及豫算ハ理事之ヲ定メ會長ノ承認ヲ受クヘシ

各部ノ事業、規約、豫算及年中行事ハ部長、副部長ノ指導ノ下ニ委員之ヲ定メ會長ノ承認ヲ受ク

ヘシ

第十六條 生徒役員會ハ本會ノ重要ナル事項ニツキ協議ス

生徒役員會ハ各部ノ代表委員ヲ以テ組織シ理事之ヲ召集ス

生徒役員會ノ協議ノ結果ハ會長ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第十七條 理事、部長、副部長、出納係、庶務係、各部委員ノ任期ハ各一箇年トシ毎年十二月中ニ

交代ス

第十八條 本會會計ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

新潟高等學校校友會々計規定

第一條 校友會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

會計年度ニ關スル收入支出ノ出納ハ翌年度五月三十一日迄ニ完結セシム

第二條 本會收入支出豫算ハ毎年四月中ニ之ヲ編成ス

第三條 本會々計ノ豫算ハ之ヲ一般及各部ニ區別ス

第四條 一般會計ノ收入ハ入會金、特別會費、基本金利子、其他ノ收入トス

各部會計ノ收入ハ當該部費其他ノ收入トス

第五條 豫備費ハ收入豫算金額ノ百分ノ十以上二十以內トス

第六條 一般會計ノ豫算殘餘ハ之ヲ基本金ニ編入ス但シ翌年度ニ於テ特ニ必要アル場合ハ其一部

若クハ全部ヲ繰越金トナスコトヲ得

各部ノ豫算殘餘ハ當該部ノ繰越金トス

第七條 各部ニ於テ寄付金ノ申込ヲ受ケタルトキハ會長ノ承諾ヲ受クヘシ

第八條 各部委員ヲ以テ所定ノ經費ヲ使用セントスルトキハ必ス所定ノ購入傳票ニ依ルヘシ

第九條 各部内ニ於ケル支出豫算各項目間ノ流用ハ當該部長ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 各部ニ於テ其豫備費ヲ使用セントスルトキハ當該部長ノ承認ヲ受クヘシ

第十一條 一般會計ノ決算報告書ハ理事ニ於テ各部會計ノ決算報告書ハ當該部長ニ於テ之ヲ作製シ

翌年度五月末日迄ニ會長ニ提出スヘシ

第十二條 理事ハ前條ノ決算報告書ヲ取纏メ會計原簿ト比較審査シ翌月末日迄ニ全決算報告書ヲ調

製シテ之ヲ公表スヘシ

第十三條 理事ハ毎年五月末日迄ニ本會及各部ニ於ケル物品ノ検査ヲナスヘシ

第十四條 各部委員ハ當該部ニ關スル會計簿、物品原簿、物品出納簿ヲ整理保管シ毎年七月及十二

月中ニ之ヲ部長ニ提出シ其檢閲ヲ受クヘシ

第十五條 出納係ハ物品原簿、現金出納簿、會費收入簿、支拂請求書綴及受領證綴ヲ整理保管シ各

年度末ニ於テ理事ノ檢閲ヲ受クヘシ

第十六條 基本金ハ左記各號ノ一二當ルモノヲ以テ其財源トス

一 通常會員ノ入會金

二 基本金トシテ特ニ指定セラレタル寄付金

三 一般會計ノ豫算殘餘

○新潟高等學校校友會々計規程

○職員

職員 (定員)

校長一人 教授二十五人 生徒主事一人 書記六人

五八

學校長

岡上 梁 高知

教授

(學年始現在)

圖書

兼生徒主事 教頭兼庶務課長

工學士 藤田猪太郎 愛知

植物、動物

兼生徒主事 教務課長

理學士 眞保一輔 新潟

歷史

兼生徒主事 生徒課長

文學士 安藤祐專 愛知

英語

兼生徒主事 英語科主任

文學士 廣政幸助 山口

化學、自然科學

兼生徒主事 圖書課長

理學士 阪部重壽 山形

獨語

獨語科主任 文科三年乙類

文學士 朝日方圓 福井

化學

評議員 理科二年乙類

理學士 小林文平 新潟

地質、礦物、地理

評議員 理科一年乙類

理學士 德重英助 福岡

國語

國語漢文科主任 文科二年甲類

文學士 羽鳥芳雄 東京

哲學、獨語、修身

哲學科主任 理科二年甲類

文學士 赤松元通 大阪

數學

數學科主任

理學士 富田準市 愛知

獨語

(在外研究)

文學士 大畑末吉 東京

物理、自然科學

物理科主任

理學士 渡邊眞治 新潟

心理、獨語

理科一年甲類

文學士 巢山菊二 長野

論理、獨語

理科一年甲類

文學士 桂壽一 東京

法制、經濟、獨語

文科一年甲類

法學士 鈴木光錄 新潟

漢文、修身

文科一年乙類

文學士 近藤康信 愛知

物理、力學

理科三年乙類

理學士 坪田弘 長崎

動物、植物

理科二年乙類

理學士 池田嘉平 新潟

歷史

文科二年乙類

文學士 潮田富貴藏 大阪

英語

文科三年甲類

文學士 落合欽吾 山梨

○職員

五九

理科三年甲級
學級主任

河野伊三郎 東京

文學士 麻生種術 廣島

文學士 佐內巖 山口

文學士 山下政治 東京

陸軍步兵中佐 北村龜作 群馬

陸軍步兵特務曹長 本間侃雄 新潟

陸軍步兵特務曹長 酒井千尋 新潟

陸軍步兵特務曹長 米重清二 鹿兒島

圖書課主任 圖書課主任 鹿兒島

勤務課兼生徒課
勤務

備外國人教師

英語 奏任取扱 (パチエラ、オヴ、リテラチエア、エイ、エス、ホイット、フキールド) 英國

獨語

講師 (就職順)

ヤコブ、フキツシエル 獨國

勤務課兼生徒課
勤務

陸軍步兵特務曹長

諸橋政範 新潟

箕輪平八 栃木

江村重雄 新潟

(兼助教)

物品會計官吏
會計主任

陸軍步兵
兵曹

陸軍步兵
兵曹

海軍一等
機關兵曹

勤務課主任

勤務課主任

會計課兼庶務課
勤務

同上

書記

物品會計官吏
會計主任

陸軍步兵
兵曹

陸軍步兵
兵曹

海軍一等
機關兵曹

勤務課主任

勤務課主任

會計課兼庶務課
勤務

同上

酒井千尋 新潟

小山徳吉 新潟

入山隆 新潟

貝沼末治 新潟

丸山繁多 新潟

齋藤卯一郎 新潟

野崎壽 新潟

數學

獨語

英語

國語、漢文

教練

體操

英語

體操

英語

英語 奏任取扱 (パチエラ、オヴ、リテラチエア、エイ、エス、ホイット、フキールド) 英國

配屬將校

助教

生徒主事補
兼助教

體操科主任

生徒課主任

圖書課主任

勤務課兼生徒課
勤務

獨語

講師

師 (就職順)

勤務課兼生徒課
勤務

陸軍步兵特務曹長

陸軍步兵特務曹長

海軍一等
機關兵曹

勤務課主任

勤務課主任

會計課兼庶務課
勤務

同上

諸橋政範 新潟

箕輪平八 新潟

江村重雄 新潟

酒井千尋 新潟

小山徳吉 新潟

入山隆 新潟

貝沼末治 新潟

丸山繁多 新潟

齋藤卯一郎 新潟

野崎壽 新潟

同上

○職員

嘱託

雇員

庶務課主任
兼會計課勤務

田澤時四郎

新潟

庶務課勤務

鹽谷ヒナ

新潟

圖書課勤務

川越修三

新潟

工作場勤務

酒井忠雄

新潟

圖書課勤務

大鹽弘

新潟

教務課兼博物
教室勤務

川崎民平

新潟

物理教室勤務

關根幸四郎

新潟

化學教室勤務

樋口新治

新潟

庶務課勤務

渡邊エホ

新潟

生徒課勤務

西野直三郎

新潟

衛生顧問

工作場勤務

鈴木常五郎

新潟

學校醫

醫學博士

澤田敬義

新潟

診察醫

醫學博士

柴田經一郎

新潟

醫學博士

丹羽七次郎

新潟

○職員

六三

六二

○生徒本籍府縣別表

東	神	新	富	石	福	山	長	岐	靜	愛	三	滋	京	大
京	奈	潟	山	川	井	梨	野	阜	岡	知	重	賀	都	阪
四	二	二九	二			一	二		二	二	一	一	一	
三	一	四〇	一		二		一							
二	一	二三		一		三	二	二	三	二	一	一		二
	二	四一			一	一	一	二						二
八	三	三三		一	一				一				一	一
二		五五	一			一	一							
一四	六	八三	二	二	一	四	六	二	六	四	二	一	二	三
五	三	一三六	一		三	二	三	二						二

○生徒本籍府縣別表

道府縣		學年		生徒本籍府縣別表	
道	府	文	理	文	理
千	埼	四		一	一
葉	玉		四		五
	馬	二	四	二	二
	木			一	一
	茨			二	二
	城	三		一	一
	鳥		三		一
	山	二	一	二	二
	形			一	一
	秋	一			
	田				
	宮				
	城				
	岩				
	手				
	青				
	森				
	北				
	海	四		三	
	道		七		四
		計		計	
		八	三	五	三
		二	六	一〇	三

(昭和八年四月八日現在)

昭和八年四月三日印刷
昭和八年四月五日發行

新潟高等學校

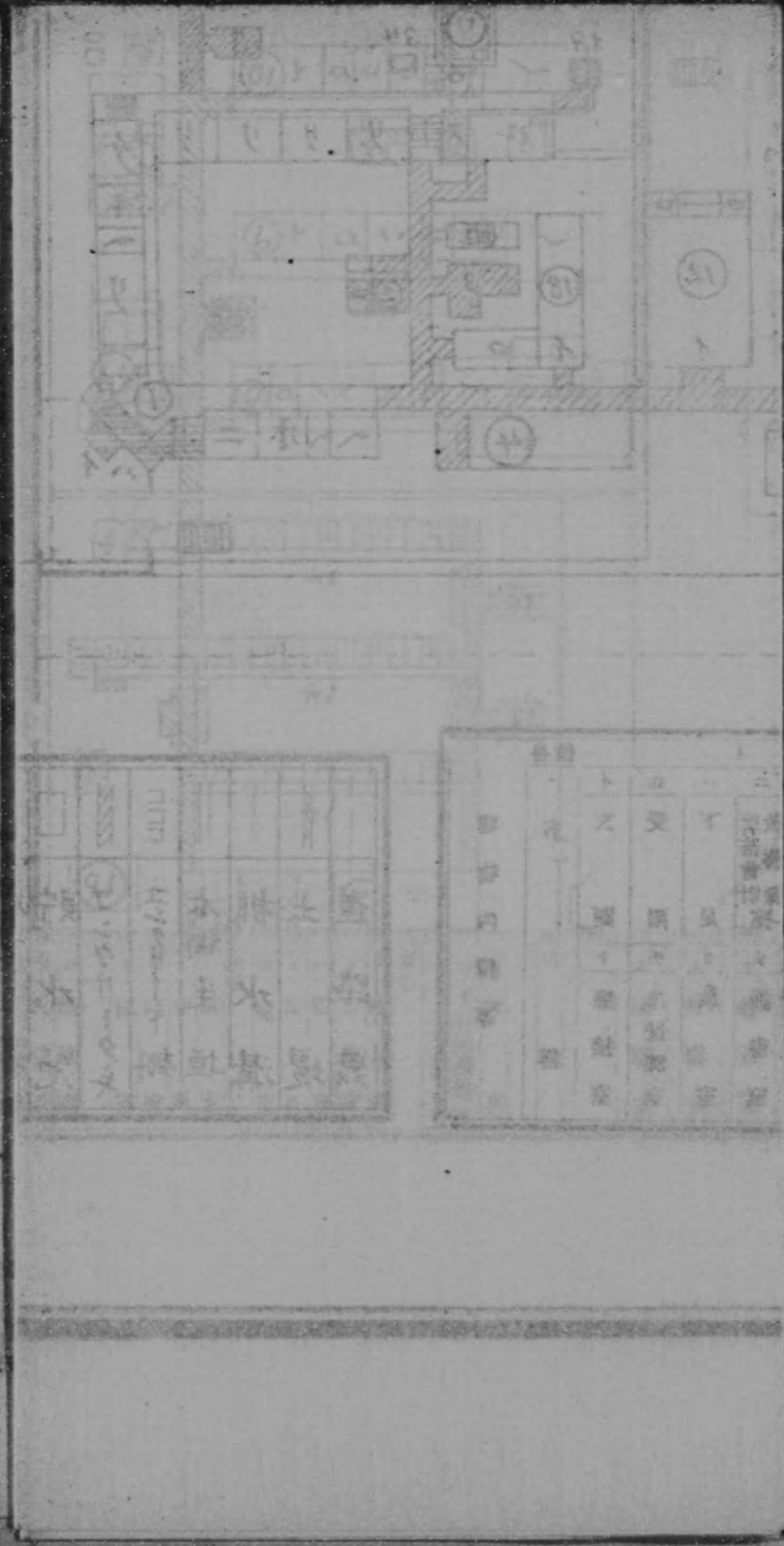
新潟市西大畑町字濱浦
(電話本校一六〇〇番
寄宿舎一六九九番)

印刷者 小島 皓 司

新潟市西堀通六番町(圖書館前)

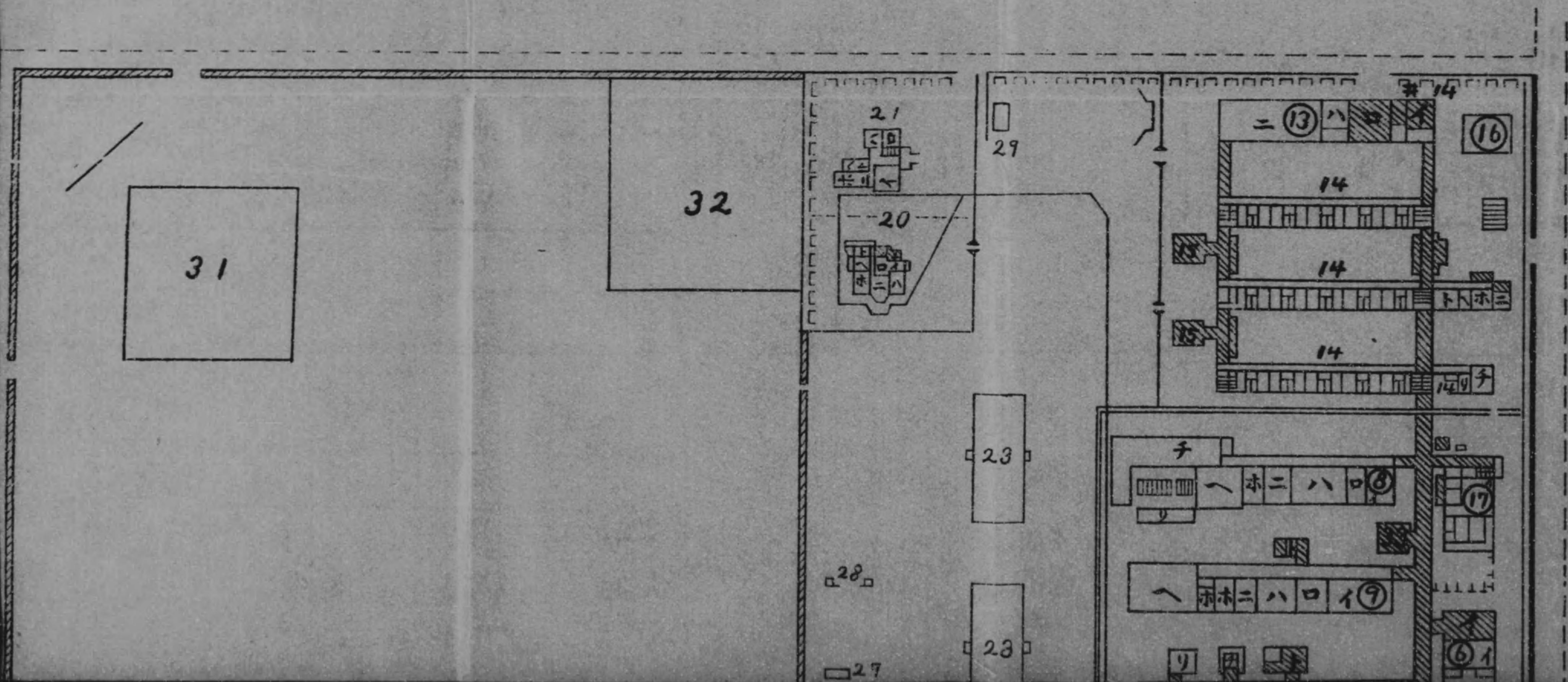
印刷所 文天閣印刷製本所

新潟市西堀通六番町(圖書館前)
(電話 二三一七番)



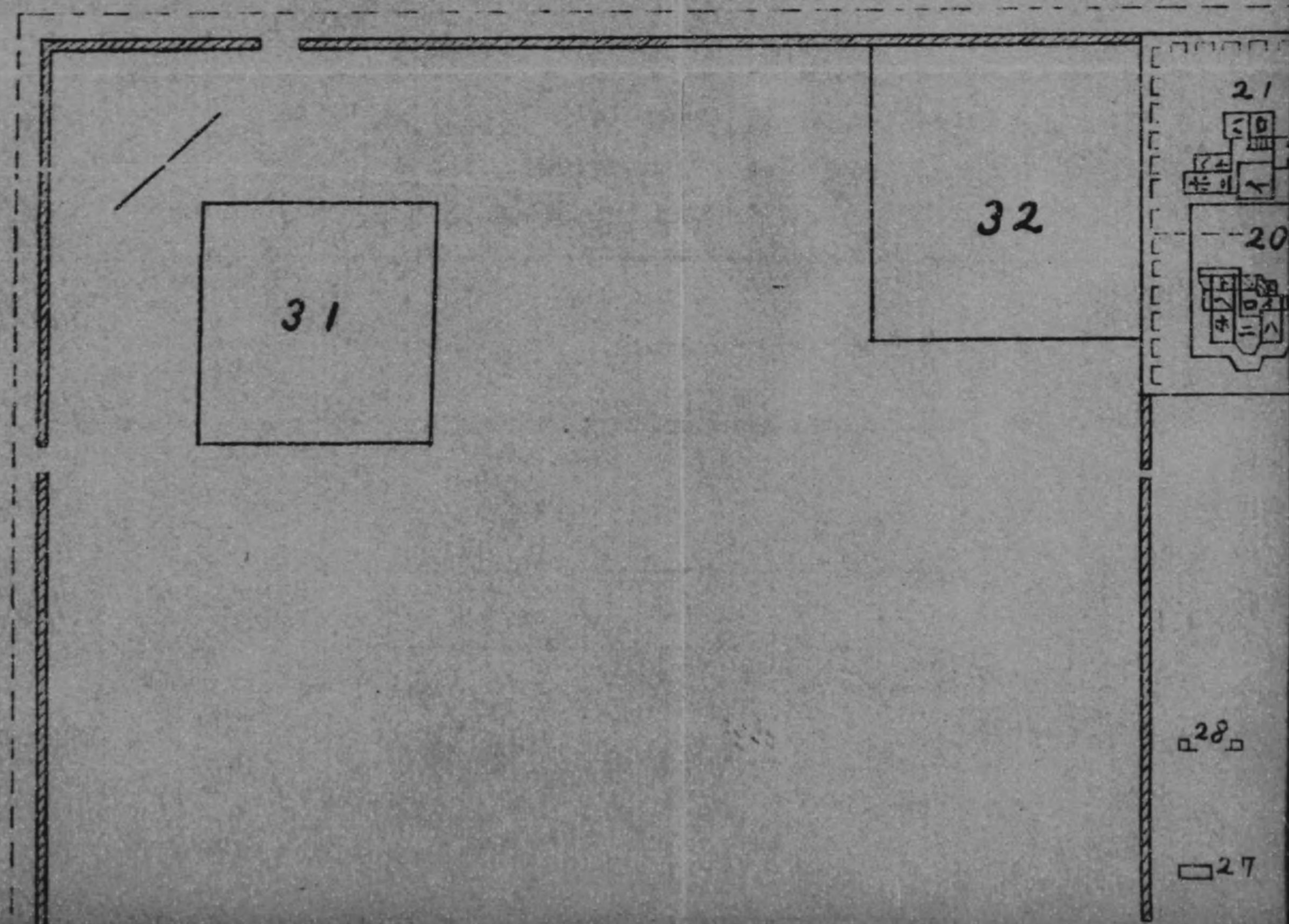
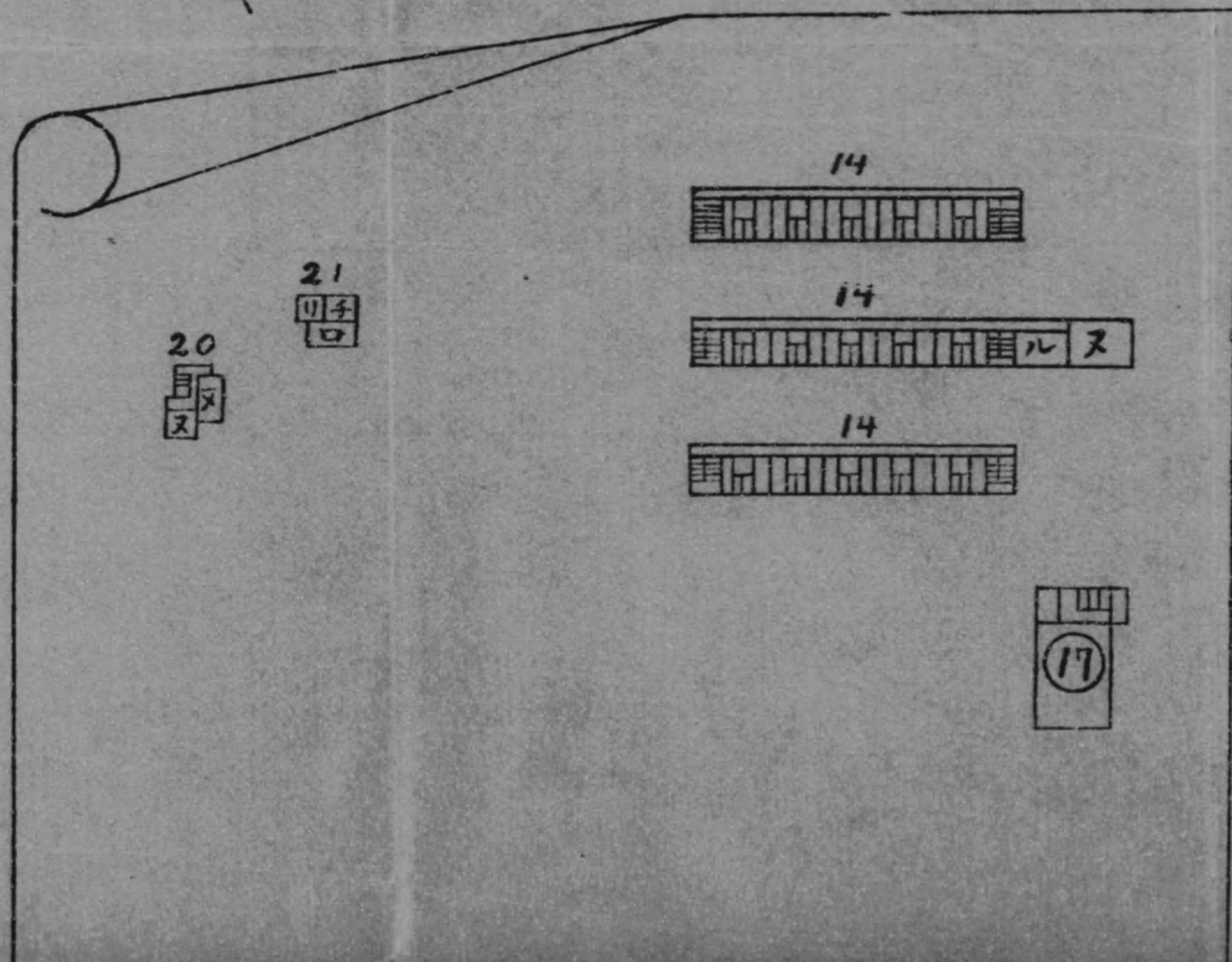
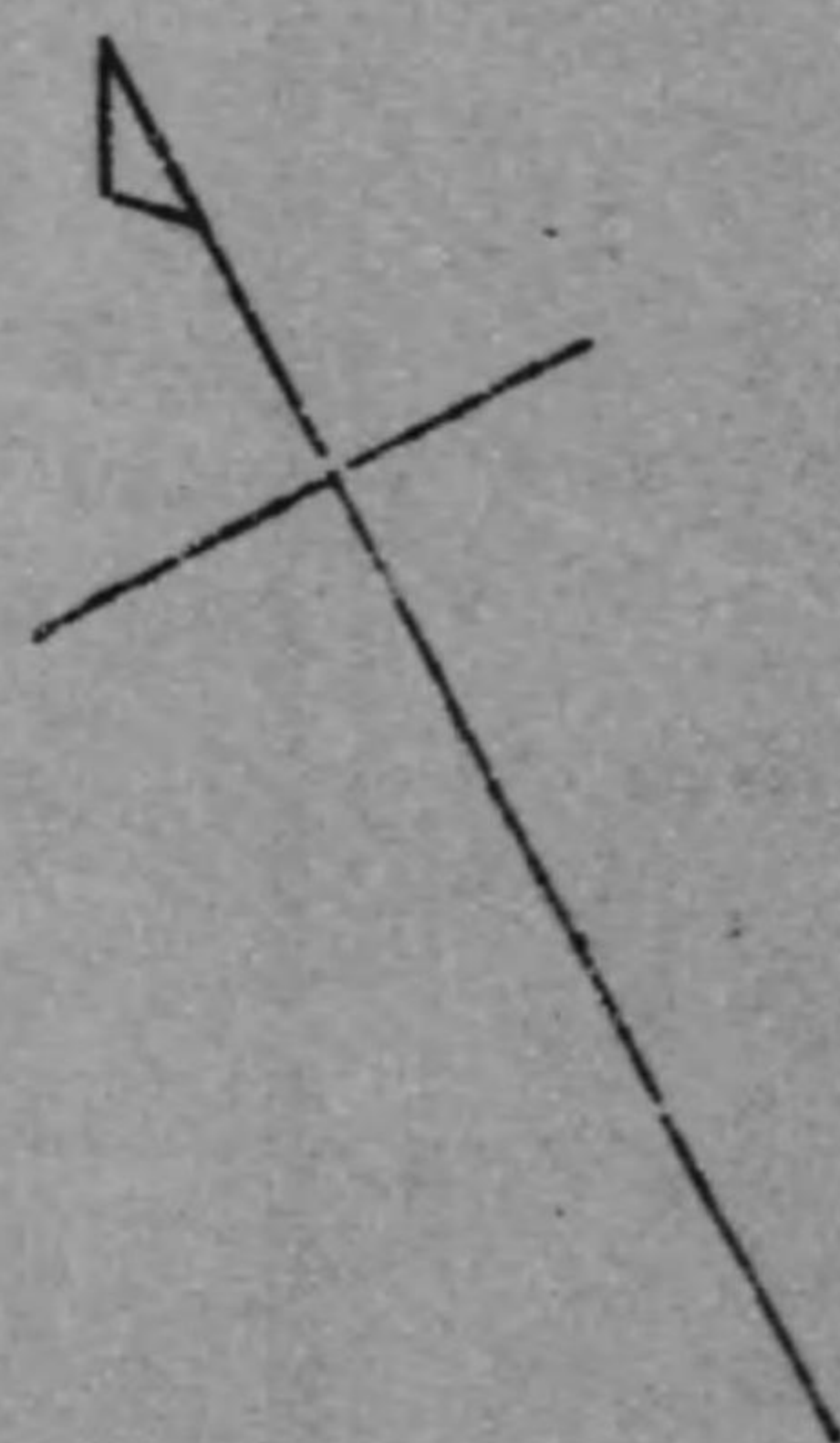
新瀨高等學校略圖

縮尺 $\frac{1}{1200}$



新瀨高等學校略圖

縮尺 $\frac{1}{1200}$



1	Einleitung	1
2	Die Geschichte der Stadt	2
3	Die Bevölkerung	3
4	Die Wirtschaft	4
5	Die Kultur	5
6	Die Politik	6
7	Die Religion	7
8	Die Wissenschaft	8
9	Die Kunst	9
10	Die Literatur	10
11	Die Musik	11
12	Die Malerei	12
13	Die Architektur	13
14	Die Gartenkunst	14
15	Die Landschaftsarchitektur	15
16	Die Stadtplanung	16
17	Die Verkehrsplanung	17
18	Die Umweltpolitik	18
19	Die Sozialpolitik	19
20	Die Gesundheitspolitik	20
21	Die Bildungspolitik	21
22	Die Arbeitsmarktpolitik	22
23	Die Familienpolitik	23
24	Die Alterspolitik	24
25	Die Migrationspolitik	25
26	Die Außenpolitik	26
27	Die Verteidigungspolitik	27
28	Die Energiepolitik	28
29	Die Technologiepolitik	29
30	Die Medienpolitik	30
31	Die Informationspolitik	31
32	Die Kulturpolitik	32
33	Die Sportpolitik	33
34	Die Tourismuspolitik	34
35	Die Regionalpolitik	35
36	Die Europapolitik	36
37	Die internationale Politik	37
38	Die Entwicklungspolitik	38
39	Die Friedenspolitik	39
40	Die Außenbeziehungen	40
41	Die diplomatische Arbeit	41
42	Die Konsulararbeit	42
43	Die Kulturdiplomatie	43
44	Die Wirtschaftsdبلوماسية	44
45	Die Bildungsdبلوماسية	45
46	Die Gesundheitsdبلوماسية	46
47	Die Arbeitsmarktdبلوماسية	47
48	Die Familiendبلوماسية	48
49	Die Altersdبلوماسية	49
50	Die Migrationsdبلوماسية	50
51	Die Energiepolitik	51
52	Die Technologiepolitik	52
53	Die Medienpolitik	53
54	Die Informationspolitik	54
55	Die Kulturpolitik	55
56	Die Sportpolitik	56
57	Die Tourismuspolitik	57
58	Die Regionalpolitik	58
59	Die Europapolitik	59
60	Die internationale Politik	60
61	Die Entwicklungspolitik	61
62	Die Friedenspolitik	62
63	Die Außenbeziehungen	63
64	Die diplomatische Arbeit	64
65	Die Konsulararbeit	65
66	Die Kulturdiplomatie	66
67	Die Wirtschaftsdبلوماسية	67
68	Die Bildungsdبلوماسية	68
69	Die Gesundheitsdبلوماسية	69
70	Die Arbeitsmarktdبلوماسية	70
71	Die Familiendبلوماسية	71
72	Die Altersdبلوماسية	72
73	Die Migrationsdبلوماسية	73
74	Die Energiepolitik	74
75	Die Technologiepolitik	75
76	Die Medienpolitik	76
77	Die Informationspolitik	77
78	Die Kulturpolitik	78
79	Die Sportpolitik	79
80	Die Tourismuspolitik	80
81	Die Regionalpolitik	81
82	Die Europapolitik	82
83	Die internationale Politik	83
84	Die Entwicklungspolitik	84
85	Die Friedenspolitik	85
86	Die Außenbeziehungen	86
87	Die diplomatische Arbeit	87
88	Die Konsulararbeit	88
89	Die Kulturdiplomatie	89
90	Die Wirtschaftsdبلوماسية	90
91	Die Bildungsdبلوماسية	91
92	Die Gesundheitsdبلوماسية	92
93	Die Arbeitsmarktdبلوماسية	93
94	Die Familiendبلوماسية	94
95	Die Altersdبلوماسية	95
96	Die Migrationsdبلوماسية	96
97	Die Energiepolitik	97
98	Die Technologiepolitik	98
99	Die Medienpolitik	99
100	Die Informationspolitik	100

人
 文
 地
 理
 學

昭和八年度教科書一覽表

		國語及漢文	英語	獨逸
第 一 學 年	文	遠藤佐市郎・元祿文學新抄(中興館) 藤田徳太郎	大内・Joice and Huxley (積文堂) 古瀬・a. Huxley's Essays (大倉廣文堂)	柏谷眞洋・Neues Deutsches Lesebuch
	甲	隈島會纂輯・標注十八史略(上下)(松雲堂) 瀧川徳太郎・論語集註(金港堂)	佐久間原・A Story-Teller's Story (大洞書房) Horby.・'English as Speech' series, vol. VII (I and Twelfth Night) (開拓社)	
	文		Anthony Trollope・Malachi's Cove and Other Stories (北星堂)	早川・Schulchatz I 鼓・基本獨逸文法
	乙			
	理	池田巖洲註・定本唐宋八家文讀本(上) (大明堂)	北星堂編輯部・Idle Thoughts of an Idle Fellow (北星堂) Anthony Trollope・Malachi's Cove and Other Stories (北星堂)	柏谷・初級用獨逸小文典
	甲	内海弘藏・校註平家物語(明治書院)	Horby・'English as Speech' series, vol. VII (Lamb; Twelfth Night) (開拓社)	
理		野淵・Short Stories of To-day (2nd series) (平野書店)	開鼓・Neues Deutsches Lesebuch 鼓・基本獨逸文法	
乙				
文	金子元臣・源氏物語選(明治書院)	岡倉由三郎・English Essays (2nd series) (研究社)	林光雅・Denken und Leben	

年度教科書一覽表

新潟高等學校

英 語	獨 逸 語	其 他
大 内 • Joice and Huxley (積文堂) 古 瀬 • n. Huxley's Essays (大倉廣文堂) 佐久間原 • A Story-Teller's Story (大洞書房) Hornby • 'English as Speech' series, vol. VII (Lamb; Twelfth Night) (開拓社)	柏谷眞洋 • Neues Deutsches Lesebuch (南山堂)	新光社 • 萬有科學大系正篇地理(新光社) 白鳥 清 • 東洋史概説 (白林社) G. Philip • Philip's New Pocket Atlas of the World (London C. Philip & Son.)
Anthony Trollope • Malachi's Cove and Other Stories (北星堂)	早 川 • Schulschatz I (郁文堂) 鼓 • 基本獨逸文法 (大學書林)	
北星堂編輯部 • Idle Thoughts of an Idle Fellow (北星堂) Anthony Trollope • Malachi's Cove and Other Stories (北星堂) Hornby • 'English as Speech' series, vol. VII (Lamb; Twelfth Night) (開拓社)	箱 谷 • 初級用獨逸小文典 (南山堂)	岡 正 造 • 高等教育代數學 (至文堂) 石川光春 • 植物學通論上卷 (内田老雄園) 高須、加藤 • 高等立体幾何學 (雲華房) 吉井正敏 • 高等教育續物、地質學 上卷 (東洋圖書合資株式會社)
野 淵 • Short Stories of To-day (2nd series) (平野書店)	開 • Neues Deutsches Lesebuch (大學書林) 鼓 • 基本獨逸文法 (大學書林)	
國倉由三郎 • English Essays (2nd series) (研究社)	林 光 雅 • Denken und Leben (日南書院)	

第 二 年 學	乙		野 淵 • Short Stories of To-day (2nd series) (平野書店)	開 誠 • Neues Deutsches Lehrbuch 鼓 • 基本獨逸文法	
	文 甲	金子元臣 • 源子物語選 (明治書院) 瀧川龜太郎 • 纂評論語集註 (金光堂) 鹽谷 溫 • 荀韓新鈔 (弘道館)	岡倉由三郎 • English Essays (2nd series) (研究社) Thomas Hardy • Jude the Obscure (開隆堂) 木 方 • 英作文ノ練習 文科用 (平野書店)	林 光 雅 • Denken und Leben 南 江 堂 • Storm, In St. Jürgen	
		文 乙		A. G. Gardiner • Windfalls (大洞書房)	大阪外國語 學校O.G.D.會 • 中等獨逸語教材 吉 田 • 獨逸新興文學傑作集第四編 櫻 井、 關 • Das junge wien
	理 甲	飯田御世吉郎 • 李杜韓白詩鈔 (平野書店)	矢 川 • Science and Humanity (開隆堂) 濱 林 • Alpha of the plough: Selected Essays (健文社) 木 方 • 英作文ノ練習 理科用 (平野書店)	林 光 雅 • Denken und Leben 橋本 忠雄 • Zur Pflandernden Stunde	
			鳴 深 寡 愆 • Essay's, Critical and Descriptive (平野書店)	大阪外國語學 校O.G.D.會 • 中等獨逸語教材 吉 田 • 獨逸新興文學傑作集第四編 櫻 井、 關 • Das junge wien	
	第 三 年 學	文 甲	藤 村 作 • 日本文學史概説 (中興館) 朱 子 • 大學章句(影印瀧川吳氏仿宋刊本) (文求堂)	古 瀨 • Contemporary Essays (北星堂) Charles Lamb • The Essays of Elia (研究社)	紅 露 • Schnitzler und wassermann, Zwei Novellen 雪山 俊夫 • Leben und Bildung
			同 上 • 中庸章句(同上) (同上) 謝 枋 得 • 校刻文章軌範(觀文堂叢書) (他善書店)	坂 井 正 一 • Main Currents of the world (大洞書房)	丸 善 • Einführung in Deutsches Leben und Denken (丸) 橋 本 • Oswald Spengler, Der Ausgang der Maschine: kultur (丸) 上 村 • E. Troeltsch, Der Geist der Deutschen Kultur (丸)
		理 甲	遠 藤 佐 市 郎 • 上代歌文新抄 (中興館) 藤 田 德 大 郎	長 澤 • Huxley and Tyndall (大倉廣文堂) 山之内爲之輔 • Pleasant Recollections by william Mathew (開隆堂)	小野澤 百 八 • Naturwissenschaft (丸) 紅 露 • Schnitzler und wassermann, Zwei Novellen (丸)
				De Quincy • Confessions of an English Opium Eater (北星堂)	南 江 堂 • Was ist wahrheit? von wilhelm Ostwald (丸) 橋 本 • Oswald Spengler, Der Ausgang der Maschinenkultur (丸) 上 村 • E. Troeltsch, Der Geist der Deutschen Kul (丸)

	(Lamb; Twelfth Night)				吉井正敏・高等教育續物、地質學 上卷 (東洋圖書會社) (資株式會社)
	野淵・Short Stories of To-day (2nd series) (平野書店)	開鼓・Neues Deutsches Lesebuch (大學書林) 鼓・基本獨逸文法 (大學書林)			
物語選 (明治書院)	岡倉由三郎・English Essays (2nd series) (研究社)	林光雅・Denken und Leben (日獨書院)			
論語集註 (金光堂)	Thomas Hardy・Jude the Obscure (開隆堂)	南江堂・Storm, In St. Jürgen (南江堂)			
新新鈔 (弘道館)	木方・英作文ノ練習 文科用 (平野書店)				
	A. G. Gardiner・Windfalls (大洞書房)	大阪外國語學校O.G.D.會・中等獨逸語教材 (三島開文堂) 吉田・獨逸新興文學傑作集第四編 (大學書林) 櫻井、關・Das junge wien (日獨書院)			
韓白詩鈔 (平野書店)	矢川・Science and Humanity (開隆堂)	林光雅・Denken und Leben (日獨書院)			岡田・微分積分學新撰 (積善館)
	濱林・Alpha of the plough: Selected Essays (健文社)	橋本忠雄・Zur Pflandernden Stunde (春陽堂)			津田榮・無機及理論化學 (裳華房)
	木方・英作文ノ練習 理科用 (平野書店)				中川、竹内・新撰解析幾何學教科書(富山房)
	鳴澤寡愆・Essay's, Critical and Descriptive (平野書店)	大阪外國語學校O.G.D.會・中等獨逸語教材 (三島開文堂) 吉田・獨逸新興文學傑作集第四編 (大學書林) 櫻井、關・Das junge wien (日獨書院)			竹内潔・高等物理學上卷 (岩波書店)
文學史概説 (中興館)	古瀬・Contemporary Essays (北星堂)	紅露・Schmitzler und wassermann, Zwei Novellen (大學書林)			
章句(影印漢川吳氏仿宋刊本) (文求堂)	Charles Lamb・The Essays of Elia (研究社)	雪山俊夫・Leben und Bildung (南江堂)			
章句(同上) (同上)					
文章軌範(觀文堂叢書) (他善書店)	坂井正一・Main Currents of the world (大洞書房)	丸善・Einführung in Deutsches Leben und Denken (Band III) (丸善株式會社) 橋本・Oswald Spengler, Der Ausgang der Maschine kultur (大學書林) 上村・E. Troeltsch, Der Geist der Deutschen Kultur (郁文堂)			
歌文新抄 (中興館)					
	長澤・Huxley and Tyndall (大倉廣文堂)	小野澤百八・Naturwissenschaft (南山堂)			竹内端三・高等積分學 (裳華房)
	山之内爲之輔・Pleasant Recollections by william Mathew (開隆堂)	紅露・Schmitzler und wassermann, Zwei Novellen (大學書林)			竹内潔・高等物理學下卷 (岩波書店)
	De Quincy・Confessions of an English Opium Eater (北星堂)	南江堂・Was ist wahrheit? von wilhelm Ostwald (南江堂) 橋本・Oswald Spengler, Der Ausgang der Maschine kultur (大學書林) 上村・E. Troeltsch, Der Geist der Deutschen Kultur (郁文堂)			堀之丞、市藏・化學實驗教科書 (六盟館)

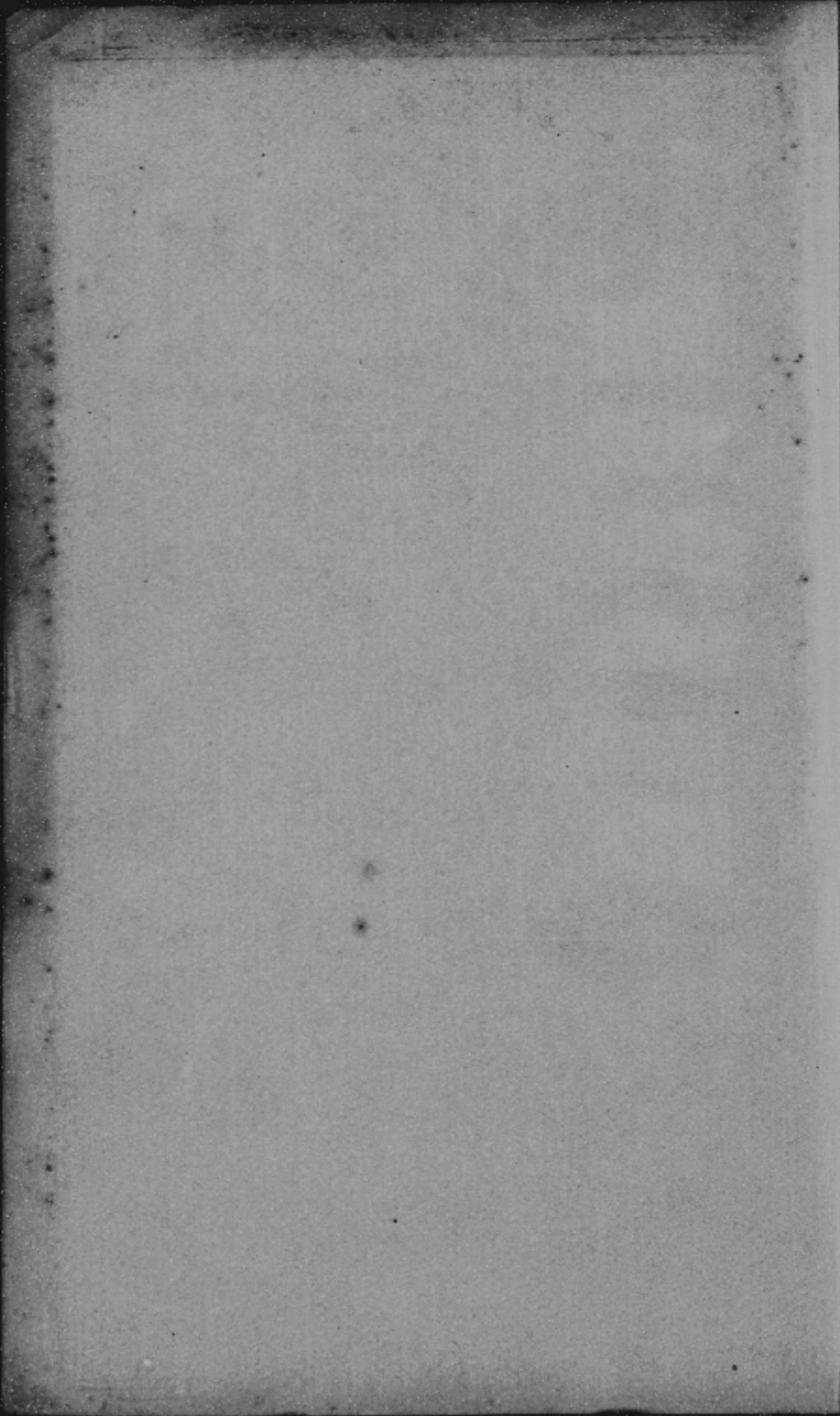
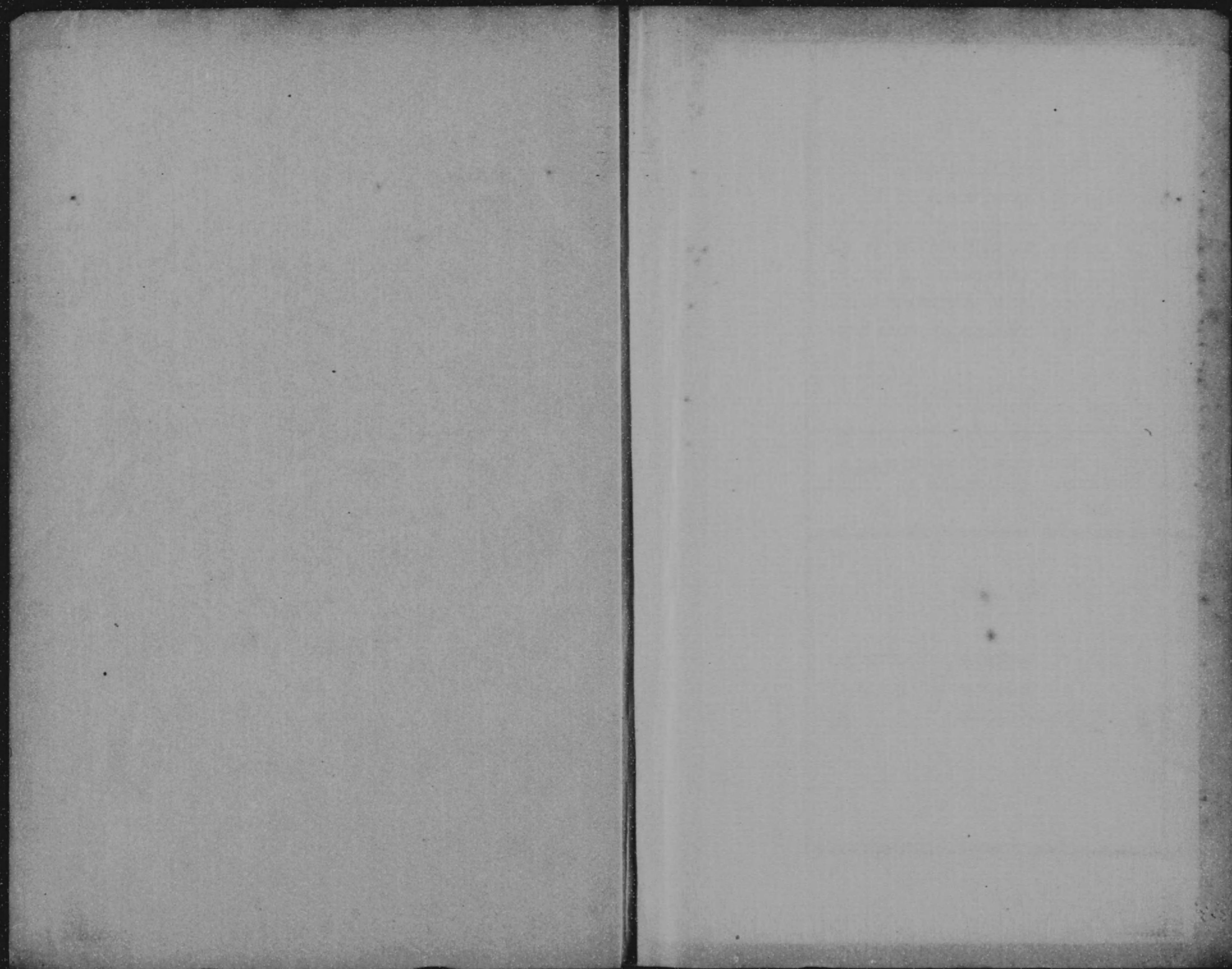


Table-Of-Contents

第一編	緒論	一
第二編	政治學	一
第三編	經濟學	一
第四編	社會學	一
第五編	教育學	一
第六編	法律學	一
第七編	醫學	一
第八編	農學	一
第九編	工學	一
第十編	藝術學	一
第十一編	宗教學	一
第十二編	哲學	一
第十三編	倫理學	一
第十四編	心理學	一
第十五編	生理學	一
第十六編	動物學	一
第十七編	植物學	一
第十八編	地質學	一
第十九編	天文学	一
第二十編	物理學	一
第二十一編	化學	一
第二十二編	生物學	一
第二十三編	人類學	一
第二十四編	民族學	一
第二十五編	語言學	一
第二十六編	文學	一
第二十七編	史學	一
第二十八編	地理學	一
第二十九編	環境學	一
第三十編	衛生學	一
第三十一編	體育學	一
第三十二編	音樂學	一
第三十三編	美術學	一
第三十四編	戲劇學	一
第三十五編	電影學	一
第三十六編	廣播學	一
第三十七編	電視學	一
第三十八編	計算機學	一
第三十九編	太空學	一
第四十編	未來學	一



283
304

NO.

PATENTED NO. 119016

"F-M"

PAMPHLET BINDERS

are carried in stock in the following sizes

Catalog No.	High	Wide	Thick
851(菊倍)	30. cm. x	22.5cm. x	1cm.
852(四六倍)	26. " x	18.5 " x	1 "
853(菊)	22.5 " x	15. " x	1 "
854(四六)	18.5 " x	12.5 " x	1 "
855(特)	24. " x	15. " x	1 "

Special sizes are made to order

LIBRARY SUPPLIES IN ALL KINDS

F. MAMIYA & CO.

OSAKA-TOKYO-FUKUOKA

